

関 済 協

関西済州道民協会 会報

第7号

2000年7月10日発行



【主な内容】

◎会長団座談会「21世紀の関済協」と部長メッセージ

◎第7回総会 新執行部選出 ◎韓日少年サッカー交流試合

◎済州道の夜明け・済州道の古称 ◎賛助広告



会旗の説明

関西濟州道民協会の会旗（写真）は創立総会の席上、濟州道知事より贈呈されたものです。

会旗の円は太陽、統合、和合を表し、三太極は三多（石・風・女）、三無（泥棒・乞食・大門）、三清（澄んだ水・澄んだ空気・澄んだ人心）を表しています。また四隅は四団体の合心、すなわち統合を意味しています。

図案作成者は濟州大学美術科教授の文基善氏。同氏は一九三五年に濟州市で生まれ、六〇年ソウル大学校美術大学卒業、六五年濟州道旗図案、八〇年濟州道文化賞受賞、八四年第一三回全国少年体典聖火台製作、八八年ソウルオリンピック寄聖火台製作等々。斯界の第一人者です。

◇題字「関済協」は康忠男名誉会長の直筆です。

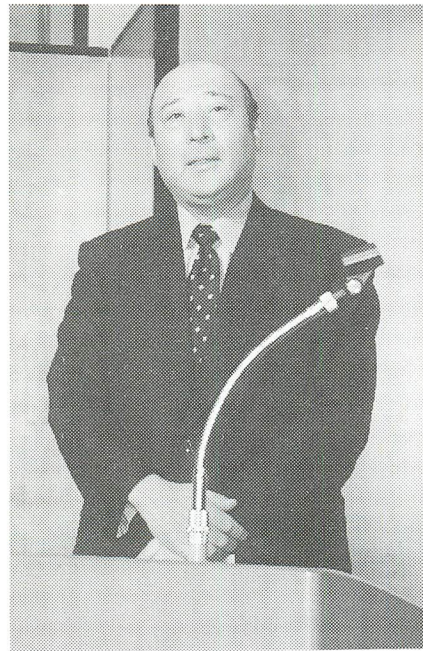
◇表紙の写真は「城山日出峰」の景観です。

韓日民間交流を積極推進

大阪・済州で少年サッカーの交流試合 「2002W杯」 盛り上げの一助にも！

関西済州道民協会

会長 高昌照



二〇世紀の終わりであり、また二〇〇〇年と二一世紀の始まりであり、二〇〇一年という意義ある節目の二年間、

関済協の四代目会長という重責を担うことになりました。歴代会長の名を汚さぬよう、栄えある会長職を全うすべく、

精進したいと存じます。母国・韓国は、過去二〇年間に素晴らしい経済発展を成し遂げました。そのスピードが速すぎて危うく転倒しそうになりましたが、金大中大統領の善導と国民の節制ある努力によって、短期間にその危機

を脱し、昨年一月にはIMF事態の終息を宣言し、七%以上の経済成長率が見込まれています。

故郷・済州道においても、近年の発展振りは目覚ましいものがあります。その証しとして、多くの国家元首や政府要人が数多く来島されました。

旧ソ連のゴルバチョフ大統領、ベルギー国王、李鵬中国総理、ドモイ・ベトナム共産党書記長、クリントン米国大統領、橋本日本国総理、等々、数え上げればきりがありません。これも「済州島を東洋のハ

ワイに」と提唱された故朴正熙大統領の政策が着実に実践され、東洋有数の観光名所になった成果だと思えます。そして特筆すべきは、西帰浦市に二〇〇二年W杯サッカーの競技場が建設されることであり、そのための高速道路建設など基盤整備が着々と進捗しております。このW杯サッカーを機に、済州道が世界有数の観光地としてさらに発展することを期待してやみません。そのためにも、関済協が今

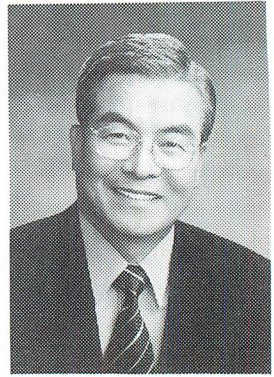
たいと考えております。その手始めとして、二〇〇二年W杯サッカーのムード盛り上げの一助にもなるであろう韓日少年サッカーの交流試合を支援していきたいと思えます。四月には大阪の少年サッカーチームが済州道で親善試合を行い、八月には済州道の少年サッカーチームが大阪で親善試合を行う予定です。関済協は組織をあげてこの交流試合を応援し、「草の根」の韓日親善の一翼を担いたいと考えております。

所存であります。

康忠男初代会長は「歩きながら考えろマンある組織にしよう」、呉辰成二代会長は「仲間よく楽しい組織にしよう」、梁斗京三代会長は「積極的に行動し頼りになる組織にしよう」という理念のもと、関済協の基盤整備と組織強化に取り組みてまいりました。

私は、歴代会長の実績を正しく継承して、「スポーツなどの民間交流を積極的に推進すること」を最優先の事業にし

うと広く提言されております。青少年は未来を担う宝であります。ホームステイ、あるいはワーキングホリデー制度の活用によるそれら青少年の民間交流や留学生交流を積極的に支援していくことは、世界の平和に通じる道だと信じて疑いません。そのためにも、済州道庁や他の機関の指導を仰ぎ、交流していくことも不可欠なことでもあります。



濟州道知事
禹 瑾 敏

在日濟州人の愛郷心が 濟州道発展の原動力！ ミカンと観光が両輪となり 貧困からやっと抜け出した

新千年とともに配布する「関濟協」第七号発刊に濟州道民の暖かい情愛と祝賀のメッセージをお伝えします。

二〇世紀中盤までは、人間が誕生すればソウルで過ごし、馬が誕生すれば濟州道で過ごしという言葉が流行しました。このような歴史を咀嚼してみれば、二種類の力があつたと私は考えます。

最初は在日濟州人たちの故郷に対する惜しみない声援がその踏み台になりました。六七〇年代、皆さんは「ミカン苗木運動」をはじめ、その愛郷の贈り物がなければ、濟州道

がどうして跳躍の機会を持つことができたでしょうか。

二つ目は観光を事業に発展させたことです。こうして、「ミカン」と「観光」を両輪の車とした濟州は貧困の日蔭からやっと抜け出すことができました。この紙面を借りて、在日濟州民一人ひとりに心より崇敬と感謝の言葉をささげます。

今では濟州道が在日濟州人たちのために恩返しをしています。優先的に戸籍謄・抄本を電話またはファクスで要請すれば、発給手数料や郵便料金を道庁で負担して迅速に送付しております。これに對

する問合せは濟州道政策企画官室（電話八二一六四一七四〇一―一五五）です。

三つ目は在日濟州人たちが、「関西濟州道民協会」濟州道庁に設置された「映像対話室」を通して、故郷にいらっしやる親族たちと顔を見ながら対話することができるところです。

四つ目は、濟州四・三事件犠牲者および遺族の申告を受け付けています。濟州四・三真相糾明および犠牲者名誉回復に關する特別法が公布されて、在外公館や濟州道（濟州四・三事件支援事業所（電話）八二一六四一七四三―四三四二）で問合せまたは受付が行われています。

わが濟州は二一世紀のために準備された土地です。濟州道国際自由都市はこのような濟州道民たちの希望を実現する最上の政策となるものです。

高昌照会長関西濟州道民協会会長をはじめ在日濟州人たちの多くの協力と参与をお願いし、青雲の志を抱いて日本に渡った時の夢を必ず成就させることを祈ります。カムサハムミダ。



南北首脳会談の成功を祝し
離散家族再開、經濟支援等
祖国統一事業の
推進を心から歓迎します

和合に徹した 素晴らしい在日 同胞社会を期待



関西興銀会長

李 熙 健

(済州道名誉道民)

関西協は大阪在住の同胞のために大きな貢献をしています。私も名誉道民の一員としてこのうえなく嬉しく思っております。

最近いくつか感激した事柄があります。一つは「本家かまどや」が「たち吉」などと協力して、済州道に一日二〇〇〇三〇組しかお客をとらない最高級のゴルフ場をつくったことです。世界でも有数のコース、ゲストハウス、と折り紙がつけられておりますから、必ずや済州道の発展に貢献するも

のと思えます。実にすばらしい考えです。次は芥川賞作家の玄月氏が誕生したことでありました。玄月氏は生野北支部支団長の弟さんで、興銀関係にも馴染みが深く、わがことのように喜んでおります。これからも大きく羽ばたいてよき指導者になつてくれることを期待してあります。

済州道は子弟の教育にも熱心で、成績もトップクラスにあり、人格形成も一番だと評価されております。大阪に多数の済州道の方がいらつしやいますが、商才にたけ、機を見るにびんで、都会の中で生きる術を心得ています。私も名誉道民の一人に推戴され、非常に名誉に思っています。韓国は夢も希望もできませんが、在日同胞社会にはまだ二つのことが残っています。一つは差別、もう一つは和合ができていないことであります。これらを解決して、素晴らしい在日同胞社会を築いていくことを期待しております。

関西韓国文化院 在日同胞の利用 大いに期待したい



駐大阪総領事

尹 迥 奎

関済協は常に有意義な活動を通じ、祖国と同胞社会の発展に大きく貢献してこられました。この功績は高く評価されるものと思います。今後ともいっそう組織の活性化を通して、同胞社会を支える存在となるべく活躍されんことを期待しております。

総領事館は同胞社会の格別たるご支援を得まして、韓日関係を発展させるうえで一定の成果をおさめることができました。その一つが関西韓国文化院のオープンであり、

様々な文化行事を催してわが国の文化を幅広く紹介できました。関西韓国文化院利用の多くが日本の方々でありましたことはたいへん喜ばしい限りでありましたが、より多くの同胞の皆様もご利用されることを合わせて願っております。

新しい韓日関係の構築が文化交流を機軸としている趨勢からも、皆様方の文化活動への多大なるご関心とご声援をお願いしたいと思います。新世代が生きる二一世紀には在

日同胞が日本人社会で共生していくため法的あるいは社会的な環境整備がより重要になっていくと思います。二〇〇〇年をそのスタートの年にするために同胞一人一人の力を結集することが何よりも求められていると思っております。

総領事館と致しましても同胞社会の地位向上や行政サービスの実をいっそう向上させることによって少しでも皆様方のお役にたてるよう協力して参る所存であります。



国会議員
高 珍 富

高く聳える濟州道

尊敬する関西濟州道民の皆さん、アンニョンハシムニカ。紙面ではありますが、ご挨拶できることを嬉しく思います。

濟州の歴史は韓民族が経験した受難の歴史の縮小版であります。この過程で濟州人の悲しみもあり、大志もありました。

このたび、その日の歴史などが新しく照明されておりますが、濟州道が世界平和の島の機能と役割を遂行するための準備とともに、国家競争力強化の次元で国際自由都市開発計画が推進されております。

このような急変する潮流に能動的に対処するためには共同体的な生を営んできた濟州人の精神を甦らせ、我々の根を探す事が先行されなければならないと思います。

濟州の競争力を高めることができる精神的基盤を構築して、世界に高く聳える濟州道造るために、関西濟州道民協会の積極的な役割を期待する次第であります。

私は、国会議員として濟州道の発展と皆さんの權益確保のために最善の努力を尽すことを約束します。カムサハムミダ。(西帰浦南濟州選出・新千年民主党)



国会議員
張 正 彦

共に幸せな国造り

関西濟州道民協会から会報『関済協』第七号に掲載する祝辞を依頼され、誠に光榮に存じます。異国でご苦労なされる皆様のため、少しでもお役に立てる仕事をと、日々深く考えております。

希望の2000年を迎えまして、より幸せな国造りを、また在日の皆様とのより緊密な関係を図れるように力を尽す所存であります。

高昌照会長の就任を祝福しますとともに、より一層、協会の発展に尽されることを期待し、併せて皆様のご健康をお祈り致します。

韓半島の辺境であった濟州道が二一世紀、わが国の太平洋へ進出する先進基地であり、関門であります。二一世紀に濟州道が世界的な貿易、観光、物流、情報、ビジネス、金融の中心地として浮かび上がるものと信じております。

また大規模リゾート団地の建設など外国人投資の誘致によって地域経済の活性化、観光産業の基盤拡充、環境にやさしい一次産業の育成などが推進されております。わが国が一九七〇年代「漢江の奇跡」を生んだように、国際自由都市化をめざす濟州道も二一世紀には「漢拏の奇跡」が生まれるものと期待されております。(北濟州選出・新千年民主党)



国会議員
玄 敬 大

濟州発展の牽引車

『関済協』第7号発刊を100内外濟州道民と共に祝賀します。そして関西濟州道民協会の発展のために労苦を惜まず、わが祖国大韓民国と温かい故郷濟州道に対する変わらぬ愛情で多くのことをしてくださいました高昌照会長と会員皆様に深く敬意を表します。

毎年発刊される『関済協』は今年も7回目を迎え、その間、関西濟州道民協会により有益な情報を提供し、濟州人をついに結びつける会報として、立派な機能と役割を果たしています。

隘路が多い異国の地で、挫折しないで、濟州人として互いに協同し、強い紐帯と友好関係持続するなど、関西濟州道民皆様の旺盛な活動と熱い故郷愛は感動的です。特に故郷濟州の名誉と自尊を高め、濟州人の開拓精神と自矜心で、誠実に生活してこられた関西濟州道民皆様の真摯な愛郷心を持ち、濟州発展の牽引車であり、濟州の誇りです。『関済協』第7号発刊が日本にいる濟州人の矜持を示すものであり、関西濟州道民協会の発展と今後のビジョンを提示する機会になることを願います。関西濟州道民皆様の輝かしい精進と関西濟州道民協会の無窮なる発展を祈願し、道民会員皆様の幸運と健勝をお祈りいたします。(濟州選出・ハンナラ党)



第7回総会を開催

新会長に高昌照 常任相談役を選出

〔第七回定期総会〕

関西濟州道民協会の第七回定期総会が一月十五日、大阪市天王寺区の都ホテルで開催された。国民儀礼、愛国歌斉唱（省略）、殉国先烈に黙祷した後、規約により梁斗京会長を議長に選出して議案審議を行った。会員総数六四七名中、本人出席二三五名、委任状一九三名が出席して総会が成立する旨宣せられ、書記に李永哲専務理事が指名され、朴晶禧総務部長の司会のもと進められた。

梁斗京会長が挨拶に立ち、「二年は長いようで短い期間で済州を故郷にする皆さまとの集いでいろいろと勉強させてもらい、「チュグルテカジ チング」(死ぬまで友達)の気持ちで、この一期一会の思いを大切にしたいと思います」と述べた。

この後、総括報告が安泰栄常任副会長により、財政報告が高英寛財政部長により、監査報告が金達孝監事によりそれぞれ行われ、異議なく承認された。続く①新年度事業計画案(議案説明)李純安事業副会長②新年度予算案(高英寛財政部長)も満場一致で可決された。席上、役員賛助金改定案と会費制導入に伴って入会金五万円を二万円に引き下げたことに伴う規約一部改正案が上程され、原案通り可決された。

花束贈呈での新旧会長



続いて、任期満了に伴い役員が総辞職して、梁斗京会長より次期会長に高昌照常任相談役が推戴され、満場一致で承認、選出された。監事、執行部役員の選出は新会長に一任された。監事には金達孝、金承煥、金聖大の三氏が推薦、選出

〔 来 賓 〕

尹 迥奎駐大阪総領事、禹瑾敏濟州道知事・朴勝蓮夫人、李熙健関西興銀会長、洪性仁韓国民団大阪本部団長、朴小秉大阪韓国商工会議所会長、李正林関西興銀理事長、金孝晃

理事長

済民日報会長、金漢昱濟州道庁企画室長、南相敏濟州道在外同胞担当官、金明信在外道民会協議会会長、李徳雄在日本濟州道民協会展長、金世邦同副会長、高林虎京都協進信友会顧問、尹基ころの家族理事長、朴善喜セツトンの家



▲国民儀礼 議案審議▼



挨拶する
梁斗京会長



総括報告する
安泰栄常任副会長



事業計画を説明する
李純安事業副会長



予算案を説明する
高英寛財政部長



され、新執行部役員は李永哲専務理事より次の通り発表された。

総務副会長 李純安、財政副会長 洪正雄、組織副会長 朴国男、事業副会長 洪佳佑、企画副会長 朴茂範、渉外副会長 韓健三、文化・厚生副会長 金永柱、体育副会長 高英寛、総務部長 朴信平、財政部長 康文男、組織部長 任京宝、事業部長 呉基博、企

画部長 康武良、渉外部長 金伸吉、厚生部長 洪碩均、文化部長 金一波、体育部長 金恒勝、専務理事 李永哲、最後に安泰栄常任副会長が、「高昌照新会長は、プロ野球選手をめざしたこともある方で、同胞社会だけではなく、日本社会にも貢献されている。その幅広い人脈を活かして、関済協をさらに活性化させてい

ただきたい」と閉会辞を述べた。

滞りなく終了した。

なお、済州道庁より「わが故郷済州道〜二一世紀の済州発展計画」と題するビデオが上映され、ミカンまつり、漢拏山に愛郷墓地、夏季郷土学校、済州道国際自由都市、観光インフラ、観光自由都市、東アジア金融センター、豊かな済州、強い済州を造りましょうという二〇分間にわたって紹介された。



監査報告する
金達孝監事



司会を担当する
朴晶禧総務部長



新役員を発表する
李永哲専務理事



新年会を司会する
康忠成体育部長

洪性仁民団大阪本部
団長の先唱で乾杯



こころの家族とセツト
ンの家に福祉金を伝達



ていきたい」と強調した。

新成人五名が紹介されて壇

上に上がり、高昌照新会長と

禹瑾敏濟州道知事夫妻より韓

国語辞典等の記念品が伝達(写

真下)された。これに対し、新

成人を代表して呉佳奈さんが

「二〇〇〇年という節目の年に

成人の日を迎えましたが、二

〇歳の重みを自覚し、今後は

民族の誇りを失わない生活を

していきたいと思えます」と

お礼の言葉を述べた。

続いて、尹迺奎駐大阪総領

事、禹瑾敏濟州道知事、李熙健

関西興銀会長(濟州道名誉道

民)の三氏がそれぞれ来賓祝

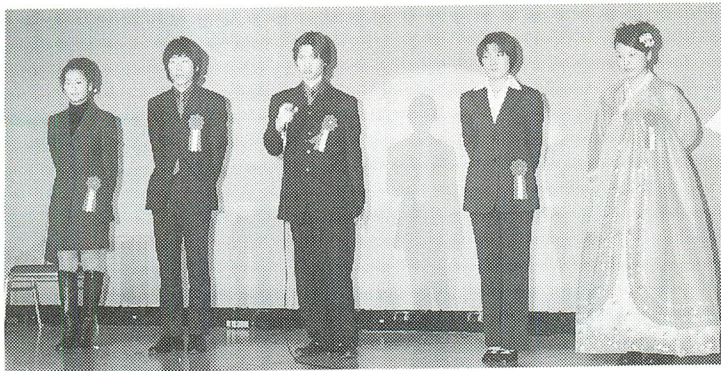
辞を述べ、各界各層の来賓が

紹介された。祝電が披露され



て、高昌照新会長から社会福祉法人こころの家族の尹基理事長と社会福祉法人シャローム・セツトンの家の朴善喜理事長へそれぞれ金一封が伝達された。

洪性仁民団大阪本部団長の先唱で乾杯し、バンド演奏を楽しみながら和やかに談笑した。最後に李純安総務副会長が閉会辞を述べ、和気藹々のうちに終了した。



「新成人」

◇金秋花(金原秋花)女・大阪学院大学短期大学二回生、二十歳になったのが信じられませんが、これからたくさん勉強して、素敵な女性になりたいと思っています。

◇呉佳奈(和田佳奈)女・青山短期大学二回生、これからもいろいろあると思うのですが、自分に自信を持って、頑張っていきたいと思っています。

◇文誠司(北田誠司)男・洋服小売業、とりあえず頑張ります。

◇高勝一(高藤勝一)男・インターナショナルパシフィックカレッジオーストラリア校二回生、まだ二十歳になった実感はありませんが、実感をもてるようにしたいと思います。

◇李留美(柴田留美)女・常磐会短期大学二回生、四月から社会人として頑張りたいと思っています。



新成人を代表して「お礼のこ」とば」を述べる呉佳奈さん



濟州道少年サッカーチームを8月に招請 舞洲アリーナ等で交流試合

高昌照執行部はスポーツ交流などによる民間交流の拡散を最重点事業として推進することを決めていく。その一貫として、生野フットボール連盟所属の少年サッカーチームと故郷濟州道の少年サッカーチームとの韓日親善交流試合を積極的に推進する。

生野フットボール連盟は生野区の少年サッカー一〇チームで構成されており、安原基好文氏が会長を務める。同連盟は、二〇〇二年W杯日韓共同開催を歓迎しようと、二年前から同連盟所属サッカーチームの国際交流試合を企画し、まず釜山、昨年は大邱を訪問し、今年は、四月二十五日から四日間、濟州道を訪れ、親善試合を行った。「写真上」今回は初めて女子選手が参加し、話題を集めた。

この濟州道遠征に際し、関濟協の高昌照会長は「北鶴橋小学校と濟州北初等学校は姉妹提携を結んでおり、今回の遠征競技は二〇〇二年W杯サッカー韓日共催に向け、韓日間の親善のためにも意味深い交流であり、今後、両校間の交流が活発になされるよう期

左から金漢昱企画室長、高昌照会長、禹瑾敏知事、梁斗京直前会長、梁在浩渉外副部長



韓日少年サッカー大会の支援を
濟州道庁に要請
韓日少年サッカーチームの交流試合を支援している関濟協は、過日、濟州道庁と教育庁を礼訪し、同交流事業の支援を要請した。礼訪したのは、高昌照会長、梁斗京直前会長、梁在浩渉外副部長で、禹瑾敏知事と体育会役員らは全面的に支援すると約束した。

待する」と述べ、激励金として金一封を伝達した。

濟州道を訪れたのは選抜チームと北鶴橋小学校チームで、濟州道からは濟州西校、西浦校、禾北校、濟州中央校が参加した。二十五日夜には濟州市内で歓迎パーティーが開かれた。二日間の熱戦の結果、生野フットボール連盟選抜チームが三敗一分、北鶴橋小学校が二勝一敗一分で、試合後、遠征チーム選手団は西浦W杯サッカー競技場などを見学した。二十八日には、北鶴

橋小学校の選手らが姉妹提携の濟州北初等校を訪問、歓迎会や合同学芸発表会に参加し、授業を参観した。また期間中、全選手が各家庭で一泊二日のホームステイに招かれ、交流を深めた。

一方、濟州道遠征に先だって、四月二日にはJリーグ・セレッソ大阪のノ・ジョンユン、ユン・ジョンファン両選手を招いて、大阪市立北鶴橋小で結団式をもった。

この濟州道遠征の答礼として、八月十八・二十一日、濟州

済州・大阪 韓日少年サッカー 交流親善試合

済州初等学校
選抜チーム来阪

8月18～21日 舞洲スポーツアイランド他

〔日程〕 2000年8月18日～21日

8月18日(金曜日)
13:10 釜山経由関西空港着
15:10 電気科学館見学
16:30 大阪市長表敬訪問
17:00 海遊館(水族館)見学
19:30 夕食～ロッジ舞洲投宿

8月19日(土曜日)
08:00 役員集合
09:30 開会式
10:00 親善試合(午前2試合)
13:00 親善試合(午後4試合)
16:30 試合終了
19:00 関西協主催歓迎会～ロッジ舞洲

応援のほど
よろしくお願ひ申し上げます

8月20日(日曜日)
08:00 役員集合
09:30 親善試合(午前3試合)
12:30 親善試合(午後1試合)
13:30 試合終了
15:00 舞洲出発
16:00 生野区着
16:30 交流会
18:30 ホームステイ(泊)

8月21日(月曜日)
08:30 北鶴橋小学校集合・出発
10:00 富士電線工業(株)見学(柏原市)
12:00 関西空港着・昼食
14:20 関西空港発釜山経由
17:55 済州空港着

主催：関西済州道民協会

後援：大阪市・大阪教育委員会・2002年W杯日韓共同開催

在日本大韓体育会関西本部・信用組合関西興銀

生野フットボール連盟

夢の球場 「済州ワールドカップ競技場」に
お名前をお残し下さい！(N. T = Name Trace)

「済州ワールドカップ競技場」の建設基金として10万ウォン以上
寄託される方々のお名前が競技場内に刻まれることとなります。

◎お申込み：関西済州道民協会もしくは西帰浦市役所

道選抜チームが来阪し、舞洲
スポーツアイランド等で交流
試合を行なうほか、北鶴橋小
学校関係者の家々にホームス
テイする。また大阪市長を表
敬訪問し、電気科学館、海遊
館、富士電線工業等を訪問す
る予定。関西協はこの国際交
流試合を積極的に推進する。



新執行部役員が 郷土を表敬訪問

濟州人としてプライドを持ち
民間交流の活性化を最優先に
今後も故郷発展の一助となり
韓日親善に最善を尽くしたい

人らと懇談した。なお訪問した役員は次の通り。

高昌照会長、梁斗京直前会長、李純安総務副会長、洪正雄財政副会長、朴國男組織副会長、洪佳佑事業副会長、韓健三渉外副会長、金永柱厚生・文化副会長、高英寛体育副会長、朴信平総務部長、任京宝組織部長、金伸吉渉外部長、金一波文化部長、金恒勝体育部長、金炳鍾常任相談役、金成洙常任相談役、金達孝監事。

なお、この訪問に際し、高昌照会長は今後の関濟協事業に關し内外の記者団に次の通り明らかにした。

関濟協新執行部役員は三月一七～一九日、郷土を礼訪した。役員十七人は十七日午前便で濟州道に到着、圓光療養院と平和の家を訪ね、二百万ウォンづつを誠金した。続いて、濟州道庁、道議会、道教育庁を表敬訪問、これまでの協力について感謝の旨を伝え、濟州道発展と民間交流にさらに尽力する意を表明した。夜には禹瑾敏知事主催の歓迎パーティーが開かれ、なごやかに歓談した。翌十八日、懇親ゴルフを楽しみ、夜には投宿先のホリデーインクラウンプラザホテルで関濟協主催の晩餐会を持ち、道内各機関の要

濟州人の一人としてプライドを持ち、民間交流の活性化と拡散化を最優先に、故郷と同胞社会の韓日親善に最善を尽くしたい。その一貫として、濟州と大阪の少年サッカーチームの国際交流を支援していく。また、濟州道が在外同胞戸籍の民願を無料で開放し、耽羅英才館を建設して在日同胞留学生を受け入れるなど、在日同胞に対する暖かい施策を実践していることに謝意を表す。と同時に、今後とも故郷発展の一助となることができ、

二〇〇〇年度 役員名簿

【名誉顧問】	禹瑾敏	康夷(高田)	文安雄(大島)
【名誉会長】	康忠男(永野)	安泰栄(安田)	洪正一(徳山)
【常任顧問】	呉承明(坂本)	申政治(平山)	朴泰秀(江原)
呉辰成(和田)			
【顧問】	康勲(永野)	梁熙晋	【執行部】
(良田)	白丁赫(白川)	姜順	直前会長
質(水山)	金昌海(松山)	金致	会長
富(藤田)	林泰連(林)	金容	総務副会長
海	金基彦(西條)	金永孝	財政副会長
(中村)	呉太瑢(石原)	洪鍾	組織副会長
淳(徳山)	金昌仁(金本)	朴	事業副会長
東進(島崎)	李寛珩(松岡)	企画副会長	朴茂範(新井)
韓長淑(西原)	趙泰華(原田)	渉外副会長	韓健三(久松)
高基秀	洪性仁(徳山)	李	厚生副会長
正林(松田)	金孝晁(金沢)	文化副会長	金永柱(岩井)
【常任相談役】	呉景学(呉城)	体育副会長	高英寛(高山)
金性玉(光山)	金炳鍾(金城)	総務部長	朴信平(新井)
城)	金成洙(金城)	財政部長	康文男(谷山)
【相談役】	邊寛信(原辺)	文	任京寶(豊川)
碇基(文元)	金清珍(金原)	事業部長	呉基博(水戸)
高南進(高倉)	李舜芳(木下)	企画部長	康武良(康田)
康柄彩(谷山)	兪吉植(松岡)	渉外部長	金伸吉(金沢)
岡)	康郷元(康本)	李林根	梁在浩(康永)
(田中)	康秉熙(大宮)	白国	洪碩均(徳山)
炯(水原)	姜文圭	高東皓	金一波
(高山)	趙南富(安井)	金徳	金恒勝
彬(池田)	康明男(信川)	任	李永哲
元邦(豊川)	康政植(康村)	専務理事	

【理事】	李萬喬(古岡)	康仲	元(鳩山)	李元徹(宮本)	呉	中)	朴勝子(大山)	金君子
鑑(谷)	梁宇濟(柳川)	李泰	永守(和田)	康隆彦(永野)	(大島)	金芳子(徳山)		
助(有田)	康奉洙(信川)	姜	康義松(谷山)	金成滿(玉野)	【監事】	金達孝(金城)	金丞	
祥昊(神田)	梁東錫(梁本)	朴基文(新井)	李昌南(岩本)	申永林(松岡)	金善濟(田	煥(三國)	金聖大(大山)	
文鉉淑(藤本)	申英進(中							
川)	高文玉(高原)	姜吉瑛						
(齊藤)	安祥文(安田)	金用						
日(金谷)	梁錫柱(梁川)	金						
奉休(吉田)	李庸鶴(吉田)							
洪龍範(徳山)	趙太錫(南本)							
金大興(金沢)	韓致文(西							
原)	鄭孟潤(国田)	梁根洙						
(大山)	梁信昭(吉本)	呉行						
男(坂本)	姜博司(林)	高善						
元(高山)	夫忠甫(富永)	高						
信吉(高田)	韓仲泰(西原)							
任正福(豊川)	朴慶一郎(密							
原)	文繁蔵(岩本)	朴英哲						
(木村)	玄勝一(吉村)	洪植						
林(徳山)	金秀玉(伊東)	呉						
龍浩(岡村)	金好正(金田)							
朴勝男(山本)	金廣侑(金沢)							
東)	文泰玆(北田)	李福蔵						
(森山)	朴晶禧(新居)	金享						
央(光本)	金豊一(吉田)	李						
連實(橋本)	尹憲亨(玉川)							
高昌晁(高山)	許榮文(吉川)							
高敬弼(高藤)	康祐成(康							
本)	康忠成(谷口)	金太伯						
(砂川)	朴承福(江川)	崔方						

北濟州郡訪日団が来訪 姉妹都市三田市祝祭等にも参加



申詰宙郡守をはじめとする 北濟州郡訪日団十二人が一九九九年八月六日、関済協事務所に来訪し、郡政説明会を開催し、役員等となごやかに意見交換した。他に民団大阪本部や東京の在日濟州道民会を訪問した。

同訪日団は八月五、九日の日程で訪日し、姉妹提携都市の三田市祝祭に参加して友好を推進したほか、日本の主要観光地を訪問して観光開発実態等を視察した。

濟州大に5億ウォン誠金 ☆☆康忠男名誉会長☆☆

多大な貢献により濟州大に銅像建立が進められている康忠男名誉会長



康忠男名誉会長は昨年十月、

濟州大に5億ウォンを誠金として、
五億ウォンを誠金した。康忠男名誉会長の次男康章秀氏(四二)が濟州大で開かれた贈呈式に出席、趙文富総長に伝達した。

誠金は医科大学における最新医療施設整備と研究事業に二億ウォン、奨学事業に三億ウォンが充てられる予定で、康章秀氏は「道民が医療サービスを十分に受けられるようにというのが父の願いです。医科大学の発展に役立ててく

故郷の寺院にも
一億二千万ウォン喜捨

表善面細花里出身の康忠男名誉会長は、細花里觀通寺の天王門建設費にと一億二千万ウォンを喜捨した。二年前にも舍利塔建設費として一億一千万ウォンを喜捨し、以前にも細花里村民会館建設費に四千二百万ウォンを寄付しており、故郷の発展に限りなく貢献している。

高基秀顧問の 受賞栄誉を祝福

「アドバイスをしてくれた先輩は、父親でもあり、兄弟でもあり、今回の受賞の賜物です」

科学技術分野で国民勲章
冬栢章受章の栄誉に輝く

高基秀顧問(高電社社長)は四月二十一日の「科学の日」に国民勲章冬栢章を受章した。科学技術分野で国民勲章を授与されるのは在日同胞として初めてのケースで、韓日翻訳ソフト等コンピューター翻訳ソフトの開発事業や科学技術者協会の会館建設事業等が高く評価されたもの。高基秀顧問は科学技術振興有功者七十七人とともに、大田市の韓国科学技術院で開かれた授賞式に臨み、金大中大統領から冬栢章を授与された。

今回の受章に際して「科学立国を目指してきた祖国に多少なりとも役に立てて嬉しい。このたびの受章が、優秀な在日同胞の人材発掘の契機となり、若い日同胞科学者が多く生まれることを期待する」と述べ、故郷である濟州道旧左邑下道里の老人会館建設基金として二千万ウォンを誠金した。

濟州大校名譽工学博士学位

KBS 海外同胞賞 祝賀会

高基秀顧問は昨年一月にKBS 海外同胞賞、四月に濟州大校名譽工学博士学位に輝いたが、関済協主催の祝賀会が十一月二十九日、大阪市天王寺区の都ホテルで開かれた。祝賀会には七十名が参加し、濟州大から趙文富総長らも参席した。

梁斗京会長の挨拶の後、趙文富濟州大校総長、尹迪奎駐大阪総領事、金善濟関済協婦人会会長がお祝いの言葉を述べ、記念品



濟州道文化賞受賞の 呉承明常任顧問を祝福



呉承明常任顧問(西帰浦市出身)は昨年、濟州道文化賞を受賞した。文化賞は学術、芸術、教育、言論、体育、地域社会の六部門で表彰されるもので、呉承明常任顧問は地域社会部門賞を受賞した。

付設事業、奨学事業支援、ミカシン園発展事業等における愛郷事業が評価されたもので、二月十七日、濟州道庁大講堂で開かれた授賞式には梁斗京会長ら関済協役員らも多数参加し、呉承明常任顧問の受賞を祝福した。



と花束が贈呈された。これに対し高基秀顧問はお礼の言葉を次の通り述べた。

ベンチャー企業という言葉をよく聞きますが、今更という気がしないでもありません。というのも、皆様がすでにベンチャー企業の精神で事業を起こされたからです。受け継いだ資産も、譲りうけた企業もあつたわけではありません。この日本のビルの砂漠のなかで、粉骨砕身あるいは四苦八苦、いろいろ考えながら今日の成果を勝ち取つたからであります。そういう先輩の後姿をみながら、私はいつかは先輩のようになりたいと努力してきました。

「いい仕事をして信用を勝ちとるんだよ。それが同胞のためにもなるんだよ」と常々アドバイスをしてくれた先輩は、父親でもあり、兄弟でもあります。ご指導ご支援を受けた私はこのうえない幸せ者であり、今回のKBS同胞賞も名誉博士号もその賜物だと感謝しております。

先輩が祖国韓国に、生まれ故郷濟州道に、多くの貢献をなさっていることをよく耳にし、私も先輩のように百分の一でもいいから奉仕したいと思ってきました。これが、私の生の源というものでしょうか。それは、濟州道であり、長くお世話になったのは日本であり、だから、私は韓国と日本に軸をおいて生きて行く運命だと思いつつ、在日の一人としての誇りと使命感をもって韓日の架け橋として生きていかななくてはいけないと自覚するようになりました。それが、今の事業に結びついていると考えております。



顧問 相談役 会議

一生懸命やっているという話を聞いて嬉しい

不可能を可能にする
気力が大切
生きた金を使って孫の代に結実

顧問・相談役会議が一九九九年十月十二日に都ホテルで開かれた。挨拶に立った梁斗京会長は「顧問、相談役のざっくばらんなご意見を賜わり、今後の参考にしたいと思います」と述べた。

また、席上、次期会長に高昌照常任相談役を推薦したことを明らかにし、顧問、相談役の了承を得た。続いて、康勳顧問の首頭で乾杯し、なごやかに歓談した。なお、顧問、相談役からのアドバイス発言は次の通り。

◎康忠男名誉会長 関西二〇万人の済州道人が団結すれば何かができる。団結する力、やる気を起こす力を出させることを掘り起こす作業が大切だ。不可能を可能にする気力が重要であり、生きた金をつかって孫の時代に結実させることを考え、抛り所となり、助け合う関済協を造りあげて欲

しい。

◎呉承明常任顧問 お互いしっかりとやっているし、模範的な会として高く評価されている。やることはしっかりとやっているから言うことはないが、私の経験から、派閥は絶対つくってはいけない。せっかく造った組織に派閥ができ、いざこざが生じるなら、最初から造らない方がましだ。

◎康勳顧問 関済協が一生懸命やっているという内外の話聞いて喜んでいる。

◎金容海顧問 アンケートを出して、関済協に何を期待しているかははっきり把握して欲しい。でないとな若い世代はついてこないだろう。これからは三世、四世の意見も聴いて運営すべきで、関済協に入って、誇りが持てるという雰囲気をつくって欲しい。

◎洪鍾淳顧問 二一世紀に向けて、いかに節約し、いかに理想的にするかに注力してほしい。役員の方々は社長業もあるから時間がなかなかとれないのが現実だが、事務所があるから、事務所を利用して、節約検約することを第一に考え、この会の発展に貢献

してほしい。

◎朴東進顧問 仕事をする事によって団結する。先輩を敬い、後輩を可愛がって、立派な事業家、人材のネットワークを構築し、出資活動も活発化して行くことを期待したい。蜜柑を観光資源に、たとえば蜜柑のワインを造るなどの事業に貢献できればいいと思う。

◎李正林顧問 済州道から留学生が大勢きている。彼らに呼びかけて、一緒に参加できる何かがあればと思う。会館に留学生の事務所を設けてあげて、自由にそこで勉強も議論もできればいいと思う。関西地区で我々が団結すること、ということがいよいよ大切なことだ。

◎高昌照常任相談役 関済協での出会いは、幼い頃の思い出も重なって、日本社会での出会いとは違うぬくもりがある。康忠男名誉会長の「関済協に入って努力してみんか。みんなでなかよくやっていこう」という考えに共鳴して一緒に参加するようになった。胸襟を開いてお付き合いができることに感激している。

数々の貴重なアドバイス発言が出た顧問・相談役会議



文化重視の活動を期待 遊び心もある組織づくりを

◎金孝晃常任相談役 関済協を通じて、たくさんの方とお会いすることができた。本国の人はすべて、在日同胞が日本籍をもっていると思いい、韓国籍であることを不思議がっている。たとえ帰化をしてもルーツが済州道であるということや堂々と日本の社会に言えるようになってほしい。その意味からも、子供達が関済協を通じて韓国人の意識が植えられることを期待している。

◎高基秀相談役 どんな集団でもそこに文化がなければだめだと思う。関済協の文化とは何かということや自分なりに考えて欲しい。もう一つは、親睦会がいろいろとあるので、そうした親睦会の会長をお招きしての合同会議を一度開いてはどうかと思う。

◎呉景学相談役 関済協はすばらしい感激がうまれる会であってほしい。親睦会は遊び心がなかったらだめだと考えている。事業はそんなに変わらないと思うから、おいしい事業だけを参考にして運営し、三万円の会費なら五万円の内容の事業を期待したい。

執行部役員が懇親会

執行部役員夫婦同伴懇親旅行が九月一、二、三日、一泊二日で行われ、二十六人が参加して、しまなみ街道く道後温泉の観光ルートを楽しんだ。

◇◇◇ 執行部役員夫婦同伴懇親会が梁斗京会長主催のもと一九九九年十二月一三日夜、リーガロイヤルホテルで開かれた。



納涼会で(都ホテル) 楽しい1日過ごす

第二回納涼会が八月二八日、大阪市天王寺区の都ホテルで開催され、家族ぐるみで参加して親睦を深め、楽しい一日を過ごした。



祖国の文化と歴史に触れる夏季学校 今年は大学生のみ募集

在日二世・三世・四世の大学生を対象とする二〇〇〇年度夏季学校が七月三十日～八月四日（五泊六日）の日程で濟州道地方公務員教育院と濟州大学を会場に開かれる。大阪からは十四名が参加する予定で、郷土の学生らと交流する。

る。参加費は一万円で、他の費用は濟州道教育院と濟州大学が負担する。

夏季学校は、日本生まれ日本育ちの在日学生に濟州道郷土史、遺跡地、道内観光、生活韓国語、耽羅巡礼（海上）等の教育を通じて、郷土愛の重要性を理解し、祖国の文化と歴史に触れることを目的としている。

明石海峡大橋が入り口になる「淡路花博」への

楽しい楽しい野遊会

あなたも是非ご参加ください

期日：2000年9月17日 日曜日（日帰り）

関濟協前 9:00 出発 → 〈阪神・第2神明〉 → 〈明石海峡大橋〉 → ハイウェイオアシス 10:30 到着 → 洲本（昼食） → 淡路花博見学（14:00～16:30 自由散策） → 〈明石海峡大橋〉 → 明石・魚棚ショッピング → 〈第2神明・阪神〉 → 関濟協前 19:30 頃到着・解散

.....申込み・問合せは 関濟協 事務局へ

大阪から濟州道の親族・知人の顔を見ながら通話できる

インターネットテレビ電話

関済協にも設置

広く利用を呼びかけ

ISDN回線を通じたインターネットテレビ電話を通じて、相手の顔を見ながら会話できる「サイバー面会所・映像対話室」がこのほど濟州道庁の一階ロビーに設置された。これに伴い、関済協事務所にも、映像付のインターネット電話が設置され、高昌照会長をはじめ役員が、道庁関係者と対話した。

今回インターネット電話の開通により、故郷に暮らす親族と、互いに顔を見ながら対話できるようになることから、直接訪問して安否を問う必要もなく、時間と経費が節約できると評判も上々だ。関済協では広く利用を呼びかけている。



夢に描いた故郷の山河に涙

高齢者故郷訪問団

濟州道は九月六、九日、生活困窮等の事情で一度も懐かしの故郷を訪問できなかった在日同胞高齢者三十人(うち関西十三人・東京十三人・仙台四人)を招待し、三泊四日の日程で道内をくまなく案内した。招待された六五歳以上の高齢者は夢に描いた故郷の山河に涙し、知人らと感激の対面をした。関済協からは金永柱厚生副会長、李永哲専務理事が随行了した。



高齢者三〇人を無料招待

敬老の日に

記念品送付

一九九九年九月一五日の敬老の日に、関済協は例年どおり、七七歳以上の敬老該当者三九名に記念品を送付し、贈呈した。

郷土濟州道が無料招請する

高齢者故郷訪問団に参加しましょう

期間 二〇〇〇年九月下旬〜一〇月初旬

対象者 本籍地を濟州道に持つ六五歳以上の方で、経済的に

恵まれず、一〇年以上故郷を訪問されていない方。

申込み・問合せは 関済協 事務局へ

洪性仁 民団中央本部監察委員長に聞く



聞き手・・・
李永哲専務理事

故郷の温かい支援に感謝

恩返しは「在日」に尽すこと

― 激戦のなか、民団中央本部監察委員長に当選され、おめでとうございます。大阪本部団長から中央本部監察委員長になられたわけですが、抱負をお聞かせください。

民団組織は、規約を遵守して運営されることが基本だ。二一世紀という新しい時代に向けて、民団規約もその流れに沿うように改正していくことを考えなければならぬが、その一つが、帰化同胞を同じ民族という立場で規定したことだ。すべての韓民族が立場や所属を超えて結束する時代になってきたということだろう。

― 激戦のなか、民団中央本部監察委員長に当選され、動として結束が強くなっている。昔なら朝総連の人らと話をしただけでも反共法に抵触すると注意されたが、朝総連の人たちも時代の流れを正しく把握して、民団陣営に加入して欲しいと思う。その意味からも濟州道出身の朝総連同胞を故郷の濟州道に案内したいと考えている。

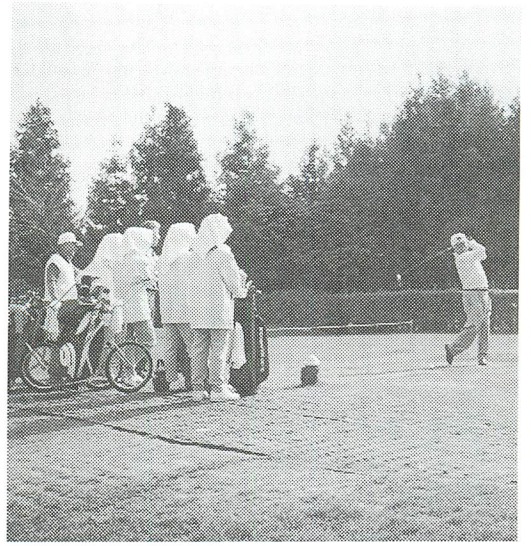
民団組織は、その裾野が広がるだけ広がっているが、反対に朝総連はちぢこまっている。これ以上ちぢこまっては

― 郷土への思いはいかがでしょうか。

故郷というものは温かいものだ。私はスポーツをやっていた関係で、一九六〇年から韓国の国体に参加してきたが、濟州道は狭いところだから、幼なじみとか知人の消息を耳にすると胸が熱くなる。それに、在日の濟州道出身者が濟州道文化賞などの榮譽に輝くとわがことのように嬉しい。それは故郷に対する貢献が報われたということになるからだ。私もその受賞のために陰に陽に尽力してきたし、そうしたいと願っている。

一日も早く自立化の道を考え、政府に対しても堂々たるものが言える在日社会を構築する必要があると思う。そのため、私

ゴルフ会



第一一回ゴルフコンペが一九九九年一月二日、コマカントリークラブで二〇八名(うち女性二三名)が集い、熱戦を繰り広げた。その結果、男性の部は新木相薫氏が四六、三八、ネット七一・八(ハンデ二二)で優勝し、二位には豊川剛司氏、三位には大島安雄氏が入った。女性の部では、新井梅子さんが五〇、四七、ネット七六・六(ハンデ二〇・四)で優勝した。

島君子さんが四四、四九、ネット七七・八(ハンデ一五・二)で優勝した。

第一二回ゴルフコンペが二〇〇〇年四月六日、北六甲カントリークラブで一〇

執行部・婦人会・青年会の合同懇親ゴルフ会が二〇〇〇年五月一四日、コマカントリークラブで開かれ、熱戦を繰り広げた。

一世紀に向けて、郷土との関係をどう構築していけばいいのでしょうか。

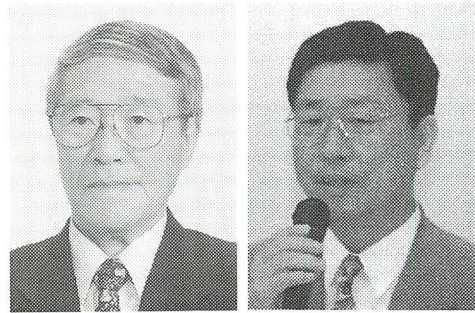
西尾浦市で二〇〇二年W杯サッカーの試合が開催されることは嬉しい。私も中央の監察委員長として在日韓国人後援会の副会長になることが決まっているが、二国の共同開催はW杯サッカー史上初めてのことだ。日本と韓国が「近くて遠い国」の関係なのか、そうでないのか、世界に試されていると思う。世界から出されたこの宿題を正しく解き、成功させなければならぬ。そのためにも民族的な次元で一人一人が盛り上げていこうという動きが大切だ。

いずれにしても、在日は一致協力して一つになることが肝要だし、いつの時代でも教育が大切だ。濟州道民の皆さんには陰に陽に世話になってきた。この恩返しは、第一に濟州道民として恥じないことをする、第二に在日のために仕事をすることだと考えているので、今後とも国と民族のために全力を尽くしたい。

民団中央本部監察

委員に金孝晃氏

民団中央本部監察委員に金孝晃顧問(済民日報代表理事会長・コリアニュース会長)が就任し、洪性仁監察委員長を輔弼することになった。



趙南富氏

金孝晃氏

民団大阪府本部議長に趙南富氏(本会相談役)

四月二日に開催された民団大阪府本部臨時地方大会で、三機関長改選が行われ、濟州道南濟州郡安德面出身の趙南富氏が議長に無投票で当選した。趙南富氏は一九三五年生れで、現住所は東大阪市寺前町。安井化学と栄和実業(株)を経営する。組織歴は民団布施支部の議長、支団長、民団大阪府本部副団長等を歴任し、一九九七年に国民勲章木蓮章に輝いている。

漢拏文化祭に参加

九月一〜一七日に開催された第三八回漢拏文化祭に、関済協関係者も多数参加した。

濟州国際市民マラソン

濟州道が主催する第五回濟州国際市民マラソンが二〇〇〇年六月四日に開かれた。三〇〇人が参加して、濟州陸上競技場をスタート、西部海岸道路を往復し、ゴールした。この国際市民マラソンには毎年、関済協関係者も多く参加する。

濟州産ミカン商談会

濟州産ハウスミカン商談会が六月一五〜一八日、大阪府中央区のコトラ大阪館で開催された。主催は濟州道で、(株)濟州貿易が主管し、コトラ大阪貿易館が協賛した。

商談会では試食用ミカンが配られ、商談も活況を呈した。一六日夜、都ホテルで開かれた商談試食会には関済協から洪鍾淳顧問、李永哲専務理事の二名が出席した。なお、関西地域名誉通商諮問官には、洪鍾淳顧問、梁斗京直前会長、洪佳佑事業副会長、李永哲専務理事の四氏が推戴されている。



第1回理事会を開催

第1回 関西済州道

お礼の言葉を述べる玄月氏



スポーツ交流に
百万円の予算を
追加計上



挨拶する高昌照会長

芥川賞受賞の玄月氏を祝福

日共催による二〇〇二年W杯サッカーを盛り上げる草の根運動として、大阪と済州道の少年サッカーチーム国際交流試合を支援していきたい」と力説した。

理事会では、(1)会務報告(朴信平総務部長)、(2)事業計画(呉基博事業部長)、(3)財政予算(洪正雄財政副会長)、(4)財政確立(洪正雄財政副会長)、等を報告、審議し、特に、スポーツ交流費として百万円の予算が追加された。最後に李純安総務副会長が閉会辞を述べた。

第二回理事会と 忘年懇親会開く

席を移して懇親会がもたれ、康勳顧問の乾杯の音頭で、なごやかに歓談した。懇親会には、芥川賞を受賞した玄月(三四・本名玄峰豪)氏が招かれ、受賞作「翳の棲家」にサインする一幕もあった。高昌照会長が「玄月先生は、生野経友会でも馴染みの顔であり、済州道出身者の誇りです。今後の活躍を期待します」とお祝いの言葉を述べ、記念品を贈呈した。

二〇〇〇年度第一回理事会が理事一四五名のうち五人出席七二人、委任状四名、の出席のもと三月二十四日夕、大阪市天王寺区の百楽本店で開かれた。挨拶に立った高昌照会長は、「韓頭がまっしろです。父や母のこれに対し、玄月氏は「済州道の集まりに初めて招かれ、お礼の言葉を述べ、記念品を贈呈した。最後に安泰常任副会長が閉会辞を述べ、席を移して忘年懇親会がもたれ、なごやかに歓談した。」

会務日誌

1999年7月～2000年6月

<7月>

- 5日 第18回執行部定例会議(事務所)
- 23日 夏季学校入校説明会(事務所)

<8月>

- 1日 1999年度夏季郷土学校入校生出発(済州道)
- 6日 北済州郡守一行来訪(事務所)
- 9日 第20回執行部定例会議(事務所)
- 28日 納涼会(都ホテル)

<9月>

- 6～9日 1999年度在日同胞高齢者故郷訪問団(済州道)
- 11～12日 執行部夫婦同伴懇親旅行(しまなみ海道～道後温泉)

11～17日 漢拏文化祭(済州道)

- 14日 第21回執行部定例会議(事務所)
- 15日 敬老会お祝い(39名・記念品郵送)
- 20日 会計監査(事務所)

<10月>

- 12日 第22回執行部定例会議、顧問・相談役会議(都ホテル)

20日 体育委員会

<11月>

- 2日 第11回ゴルフコンペ(コマC.C.)
- 8日 第23回執行部定例会議、会計監査(事務所)
- 29日 高基秀相談役済州大学校名譽工學博士学位・KBS海外同胞賞祝賀会(都ホテル)

<12月>

- 6日 第2回理事会(都ホテル)
- 28日 終務
- <1月>
- 5日 始務
- 15日 総会・新年会・成人式(都ホテル)

<2月>

- 1日 第1回執行部会議(事務所)
- 3日 渉外部会議
- 25日 日韓少年サッカー大会済州道遠征

<3月>

- 6日 第2回執行部会議(事務所)
- 17～19日 執行部郷土表敬訪問(済州道)
- 24日 第1回理事会(百楽本店)

<4月>

- 3日 第3回執行部会議(事務所)
- 6日 第12回ゴルフコンペ(北六甲)
- 11日 体育部会議(事務所)
- 17日 大阪市庁表敬訪問
- 17日 企画部会議(事務所)
- 18日 済州道観光協会一行8名来訪(事務所)

<5月>

- 1日 第4回執行部会議(事務所)
- 14日 執行部・婦人会・青年会懇親ゴルフ会(コマC.C.)

<6月>

- 4日 済州国際市民マラソン(済州道)
- 13日 第5回執行部会議(都ホテル)
- 13日 W杯サッカー済州競技説明会(都ホテル)

〔執行部定例会議〕

★第一九回執行部定例会議(七月五日)では、①敬老会、②納涼会、③執行部夫婦同伴懇親旅行、④高基秀相談役済州大学校名譽工學博士学位授与祝賀会、等の案件が審議された。

★第二〇回執行部定例会議(八月九日)では、①第三回在日同胞故郷訪問、②敬老会、③高基秀相談役名譽工學博士学位授与祝賀会、④納涼会、等の案件が審議された。

★第二一回執行部定例会議(九月一四日)では、①顧問・相談役会議、②ゴルフコンペ、③第二回理事会兼忘年懇親会、④総会・新年

会・成人式、⑤関済協ビル空室賃貸、⑥在日同胞故郷訪問、⑦結婚相談所、等の案件が審議された。

★第二二回執行部定例会議(十月一二日・都ホテル)では、①第一回ゴルフコンペ、②高基秀相談役名譽工學博士学位授与祝賀会、等の案件が審議された。

★第二三回執行部定例会議(十一月八日)では、第二回理事会等の案件が審議された。

★第二四回執行部定例会議(一月二六日・都ホテル)では、①総会・新年会・成人式、②呉承明常任相談役済州道文化賞受賞祝賀会、等の案件が審議された。

★第二五回執行部定例会議(一月一一日)では、①第七回定期総会役割分担、②入会金と会費の問題、等の案件が審議された。

事務引継ぎする新旧会長



〔新執行部〕
★第一回執行部定例会議(二月

一日)では、①顧問・相談役推薦、理事推薦、②二〇〇〇年度事業計画、③執行部郷土訪問、④第一二回ゴルフコンペ、⑤済州道少年サッカーチーム招請支援、⑥常任顧問・常任相談役執行部会議出席、等の案件が審議された。

★第二回執行部定例会議(三月六日)では、①執行部郷土表敬訪問、②第一回理事会、③第一二回ゴルフコンペ、④スポーツ交流特別予算計上、⑤生野少年サッカーチーム済州道遠征支援、⑥玄月氏芥川賞受賞祝賀、等の案件が審議された。

★第三回執行部定例会議(四月三日)では、①第一二回ゴルフコンペ、②済州道少年サッカーチーム招請支援、③関済協ビル空室賃貸、④執行部・婦人会・青年会の

合同ゴルフ会、⑤ワーキングホリデー制度活用国際交流、等の案件が審議された。

★第四回執行部定例会議(五月一日)では、①関済協機関紙発刊、②済州道少年サッカーチーム招請支援、③第四回在日同胞高齢者郷土訪問、④二〇〇〇年度夏季郷土学校入校生募集、⑤二〇〇二年W杯説明会、⑥インターネットテレビ電話運営協力、⑦青年会との合同野遊会、等の案件が審議された。

★第五回執行部定例会議(六月一三日・都ホテル)では、①野遊会、②済州道少年サッカーチーム招請支援、等の案件が審議された。終了後、同所で開かれた「二〇〇二年W杯サッカー西帰浦競技場建設状況説明会」に参加した。

婦人会だより

婦人会第3回総会を開く 新会長に金芳子さんを選出

「出会いを大切にいろいろなことにチャレンジ」
の金善济(田中)執行部の任期を大過なく終える

婦人会第三回定期総会が六月二三日夕、大阪市天王寺区の都ホテル「志摩の間」で開かれ、会員一三四名のうち本人出席五九名、委任状三九名の計九八名が出席した。
金君子(大島君子)副会長の司会のもと、挨拶に立った金善济(田中孝江)会長は「出会

各種支援に感謝する執行部(下)と

花束贈呈の新旧会長(右)



いを大切に、いろいろなことにチャレンジすることを motto に、二年間の任期を皆さまのご協力で、大過なくつとめることができました。心から御礼申し上げます」と述べた。続いて議案審議に移り、総括報告(金芳子)・徳山副会

長)、財政報告(朴勝子)・大山副会長)、監査報告(高好子)・呉城監査役)、事業計画案(金芳子副会長)、新年度予算案(朴勝子副会長)が滞りなく報告、審議され、満場一致で承認、可決された。
次に役員が総辞職し、役員改選が行われた。金善济議長より新会長には金芳子副会長が推薦され、異議なく満場一致で選出された。金芳子新会

長より新役員が発表された。これをもって婦人会第三回定期総会は滞りなく終了し、金芳子新会長から金善济直前会長へ花束が贈呈された。
席を「浪速の間」に移し、懇親会がもたれた。李愛子副会長の開会辞の後、金芳子新会長が就任の挨拶を述べた。
来賓挨拶にたった李純安総務副会長は、梁斗京直前会長、洪佳佑事業副会長、韓健三渉

新役員

常任顧問	申永林(松岡正子)
顧問	高菊子(和田菊子)
顧問	姜順子(西原順子)
相談役	高好子(呉城好子)
相談役	朴勝子(大山勝子)
相談役	金君子(大島君子)
相談役	金善济(田中孝江)
直前会長	金芳子(徳山芳子)
会長	李愛子(安井愛子)
副会長	姜陽子(高陽子)
副会長	金泰順(金沢順子)
副会長	李寿子(梁本寿子)
幹事	金静江(新井静子)
幹事	韓英子(岩井英子)
幹事	邊寿子(安田寿子)
幹事	文義子(徳山義子)
幹事	洪富子(新居富子)
幹事	洪吉子(高山吉子)
監査役	

事業計画案

新年度事業計画案を次の通り採択した。なお、これに伴う新年度予算案は総額一六七三万余円(うち繰越金九〇〇余万円)を計上した。

- 一、野遊会(九月一七日[日] 関済協・婦人会・青年会合同開催)
- 二、ゴルフコンペ(九月後半)
- 三、ブライダル触れ合いパーティー(若人の集い)(一〇月二二[日] 都ホテル)
- 四、第五回懇親旅行(一月中旬ごろ 済州道母国訪問)
- 五、その他の事業

婦人会の多彩な活動を総括

ゴルフの集い・若人の集い・懇親会・一口スピーチ等
 フライダルパーティーでは3組がめでたくゴールイン

婦人会発足当初の会員は二〇名そこそこだったが、期末会員は一三四名と集計された。現在も増えつつある。その間、「出会いを大切に、いろいろなことにチャレンジする」ということをモットーに、まずゴルフコンペを初めて実施した。このゴルフコンペには四〇人近くが集まり、楽しい集いになった。

二つ目はフライダル触れ合
 婦人会の会長を、というお話があった時、お断りしていたのですが、主人の勤めもあって、思いもよらずお引き上げすることになりました。力不足ですが、お引き上げたしました以上、初代会長の「内助の功、会員相互の親睦」、直前会長の「出会いを大切に、いろいろなことにチャレンジする」という精神と、これまでの

会の向上と 会員皆様の 和を深める

金芳子(徳山)
 新会長あいさつ



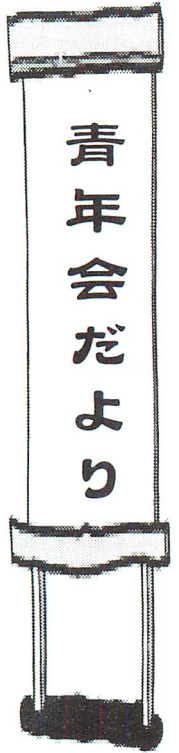
婦人会の会長を、というお話があった時、お断りしていたのですが、主人の勤めもあって、思いもよらずお引き上げすることになりました。力不足ですが、お引き上げたしました以上、初代会長の「内助の功、会員相互の親睦」、直前会長の「出会いを大切に、いろいろなことにチャレンジする」という精神と、これまでの

四年間の事業を引き継いでまいりたいと考えております。私は、「会の向上と会員皆様の和を深める精神」で、新役員の皆様の力をお借りしながら、お役に立てるよう、私の力ある限り精一杯努力してまいりますので、どうぞ今後とも暖かいご支援ご協力をよろしくお願いたします。

艶やかなチヨゴリ的美



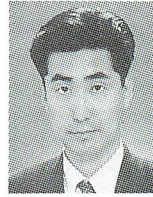
禹瑾敏知事を囲んで (都ホテルで開かれた新年宴会会場で)



新たな世紀へ

さらなる飛躍

2000年度
スロガン



会長 金成満

大阪を中心とした同じ故郷を濟州道に持つ子孫の集まりの親睦会として始まった関西濟州道民協会青年会は関西濟州道民協会を親団体として七期目を迎えることができました。

私は入会以来ずっと感じておりますのは、「政治・宗教・ビジネス等のしがらみがなく、単に同胞の親睦を旗印に集まった我々を同じ立場（先輩・後輩の線はもちながら）での意見のぶつかり合いができ」「民族意識をわすれず、また再確認ができ」「自分が抱える問題を客観的に判断し、話し合える場があり」「なによりも会員を愛し会を愛せる青年会」

である。

我々会員は、自分自身が多年後入会してくる会員にすばらしい青年会だと誇りに思えるよう切磋琢磨し、努力することによって自己の成長・育成の場としていきたいと思

第7回定期

総会を開く

関西濟州道民協会青年会第七回定期総会が二〇〇〇年二月六日、大阪天王寺区の都ホテル大阪（上六）で開催された。総会では、新会長に金成満氏が満場一致で選出された。と同時に金成満新会長は新執行部役員を次の通り発表した。

〔新会長団・委員長団〕

- | | |
|----------|---------|
| 直前会長 | 康義松 |
| 会長 | 金成満 |
| 常任副会長 | 姜孝一 |
| 内務副会長 | 康浩彦 |
| 外務副会長 | 梁哲司 |
| 監査役 | 朴敏信 金仲吉 |
| 総務委員長 | 朴泰剛 |
| 組織委員長 | 張健植 |
| 組織副委員長 | 康正根 |
| 厚生委員長 | 申政憲 |
| 厚生副委員長 | 安哲浩 |
| 事業委員長 | 高武邦 |
| 事業副委員長 | 洪昌男 |
| 広報委員長 | 邊京来 |
| 広報副委員長 | 金泰慶 |
| 青年会キャプテン | 金光秀 |
| 〔相談役〕 | 李政根 張昭弘 |
| 夫承一 | 朴泰男 洪範疇 |
| 金成鍾 | 金成奎 宋浩善 |
| | 康武良 |

二〇〇〇年度

活動方針

求められる事 求める事を融合

我々青年会も新たに発足以来数えること七年目を迎えることとなりました。この混沌とした社会情勢の中、あとわずかな月日で新しい世紀を迎えようとしている我々は、まさに大量消費・大量廃棄の時代を伴って切磋琢磨を繰り返しながら、多方面にて活躍して参りました。

また、きたる二一世紀に備え、この青年会を通じ「親睦」の言葉をかみしめ、新たな時代に求められる事・求める事の一つ一つを見つめ直し、青年会活動に融合させ、実りのある又、誇りの持てる青年会にしたいと考え、以下の要項を本年度の青年会方針と致します。

- 一、社会的意識のレベル向上。
- 二、新入会員の拡充。
- 三、地域社会への貢献。
- 四、他団体との交流。



新入会員の面々

〔今年度新入会員〕

今期、入会されましたメンバーを紹介いたします。
姜徳林（豊山徳林） 高京徹
金 明（山口明） 金都貴（金城都貴） 金栄一（大山栄一）
金昌石（山本昌石） 文容俊
慎智彦（真本高和） 張健植
（長谷川健一）

◎新入会員を随時募集しておりますのでご紹介よろしく
お願い致します。

2000年度 定例幹事会 日程

第2回	定例幹事会	3月 4日(土)	午後7時
第3回	定例幹事会	4月 1日(土)	午後7時
第4回	定例幹事会	5月 13日(土)	午後7時
第5回	定例幹事会	6月 3日(土)	午後7時
第6回	定例幹事会	7月 1日(土)	午後7時
第7回	定例幹事会	8月 5日(土)	午後7時
第8回	定例幹事会	9月 2日(土)	午後7時
第9回	定例幹事会	10月 14日(土)	午後7時
第10回	定例幹事会	11月 11日(土)	午後7時
第11回	定例幹事会	12月 2日(土)	午後7時

※定例幹事会開催場所は、関済協ビル3F会議室

青年会がボウリング大会 青友会がゴルフコンペ

〔4月度月例スポーツ大会〕
青年会主催のボウリング大会が四月二三日(日)東大阪ロードボウルで開催され、七八名が参加した。表彰式と食事会は生野区翼北の酒連坊で行なわれ、楽しい一日を家族と伴に過ごした。

五月二八日(日)北六甲カン トリークラブ西コースで、青年会ゴルフコンペを行った。青年会OBを含め数多くのメンバーが参加、和やかにプレーを楽しんだ。栄えある優勝は常任副会長の姜孝一氏に輝き、懇親会場で華やかに表彰された。

〔青友会ゴルフコンペ〕



◇六月度月例新入会員歓迎会

期日 六月二四日(土)

場所 エスカイアクラブ

時間 午後六時受付

◇八月度月例 野遊会

◇九月度月例 O・A・F

◇一〇月度月例 母国訪問

◇一二月度月例 忘年会

◇勉強会(年二回ほど)

青年会の事業は今後も多彩な事業計画を企画中です。日時が決定しだい、広報してまいりますので、会員の参加を心よりお待ちしております。



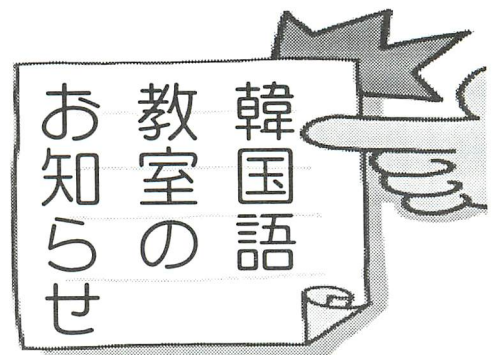
朴敏信監査役家族

家族写真スナップ



康義松直前会長家族▲

辺京来事業副会長家族▼



青年会は今年も張智恵(チャ・チへ)を講師に韓国語教室を行っております。受講料は無料で、毎月、第二、第四金曜日午後七時から一時間は中級クラス、同じく八時から一時

間は初級クラスです。教室は関済協ビル三階会議室です。
〔講師プロフィール〕
大阪市出身の在日韓国人三世。一〇代に韓国舞踊と出会い、二〇代から本格的に取り組む。一九八九年に単身韓国にわたり、韓国人間文化財・李梅芳(イメバン)門下に入り、伝統舞踊を習う。韓国国立劇場やその他の公演に出演。一九九八年重要無形文化財第九七号「サルブリ舞」履修者(日本という「名取り」にあたる)となる。現在、日本にて韓国舞踊の指導、公演活動を行っている。◇張智恵韓国舞踊研究所代表◇民団八尾支部韓国語講師◇聖公会韓国語講師



都ホテルで行われた会長団座談会

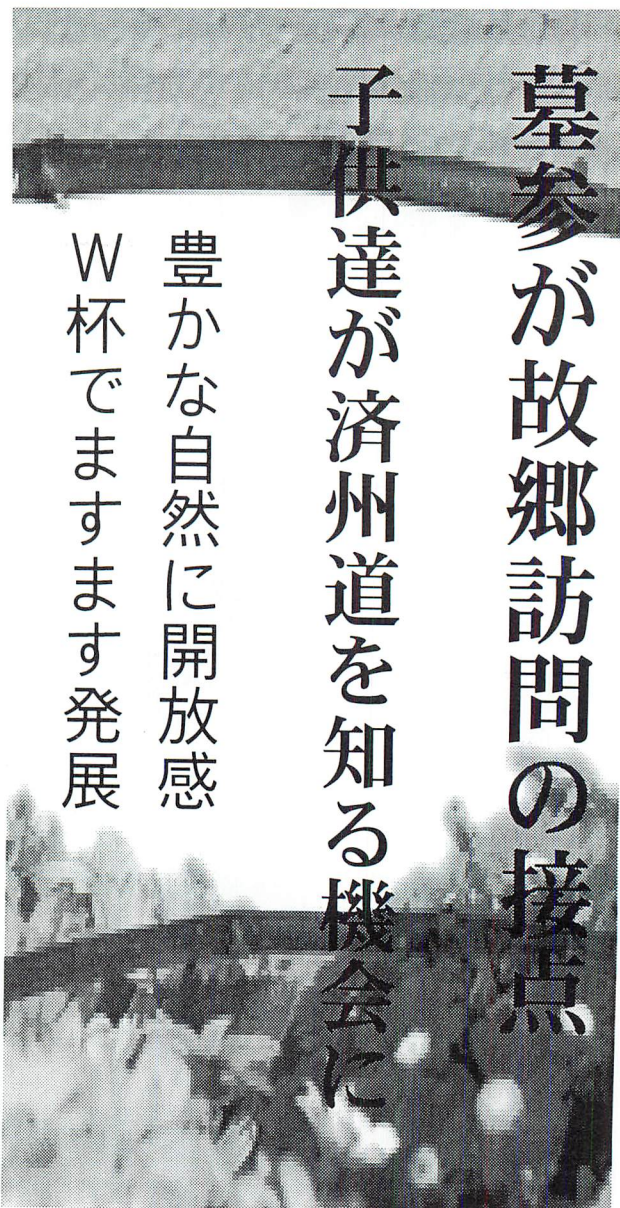
会長団座談会 21世紀の関済協

「二一世紀の関済協」と題する会長団座談会が、六月一日午後四時から、大阪市天王寺区の都ホテル三階「葛城の間」で行われた。出席者は、高昌照会長、洪正雄財政副会長、朴國男組織副会長、洪佳佑事業副会長、朴茂範企画副会長、金永柱文化・厚生副会長の六氏が、司会は、康武良企画部長が担当した。以下はその内容である。

司会 故郷・濟州道に感じる気持ちと濟州道の素晴らしところはどこか。その素晴らしさを、若い世代にどう伝えていけば、いいのでしょうか。また、若い世代が魅力を感じる関済協の事業はどのようなものでしょうか。二一世紀に向けて関済協はどのような事業をしなければいいのでしょうか。

高昌照会長 毎年四月と九月に墓参りに帰ります。これは、わが家の恒例行事で、濟州道へ帰ると、やはり開放感を感じます。故郷の大自然に接すると、大阪のごみごみした雑踏や、日々の仕事、あるいはいろいろな雑務に追いまわされている忙しさを完全に忘れてしまいます。最近、濟州市でも西帰浦市でも近代的に開発されて、その景観も見違えるばかりに変貌しつつありますが、それでも、山や海にはまだ豊かな自然が残っています。

墓参は義務のようなもので、二年に一度は、四人いる子供が家族を順々に、全員連れて行きます。子供はすでに結婚して子供をもうけていますから、私は孫にも囲まれての帰



墓参が故郷訪問の接点

子供達が濟州道を知る機会に

豊かな自然に開放感
W杯でますます発展

高昌照会長



があるということが、故郷済州道との接点になっているようにです。

済州道庁は現在、観光開発事業に一生懸命取り組んでいます。そうした努力もあって、

済州道は魅力のある観光地として、若い人にも人気が出てきています。そういうことで、済州道を訪れる人が年々増加しているようですので、航空便を増発して、利便性を向上させる努力も併せて行えばいいのではないのでしょうか。

私は、予期せぬ会長職をおおせつかって戸惑っておりますが、いずれにしましても歴代会長の実績を正しく継承して、関済協の事業を発展させていくだけです。そのため、私としては、民間交流に総力をあげて取り組みたいと思っております。その一つが、生野

フットボール連盟に所属する少年サッカーチーム済州道遠征(四月)であり、また済州道少年サッカーチームの大阪招請(八月)であります。

済州道遠征交流試合では、済州道庁の全面的な支援を受けて、関係者一同感激しております。三万二千人収容の全面芝の素晴らしい競技場で、試合し、体育館が宿泊施設で、全員そこに泊り、少年選手達は「芝のグラウンドで試合するのははじめてだ」と非常に喜んでいました。父兄ら関係者も「感無量・・・」と涙を流していました。そうした面で、道庁の皆様には大変感謝しております。

と我々年寄りとの間には段差があるように感じましたので、青年会の会長を歴任された方々には無理をいって、執行部に入っていたいただき、青年と年寄りとのパイプ役として、その段差を埋めていただく努力をしていただくようお願いいたしました。年寄りは顔に皺を寄せて、長いキセルでタバコを吸うイメージがあり、若い者には近寄り難い雰囲気はまだ残っているように思われ



金永柱文化・厚生副会長

ますので、そういう雰囲気解消して、若い者と年寄りの関係がスムーズに行くようになればいいと願っております。

金永柱文化・厚生副会長 私 は、済民日報の理事をやらせていただいているという関係もあって、済州道にはたびたび行く機会があります。行くお会いする機会もあり、いろいろな情報交換もできるという事で喜んでおります。済州道へ行って感じることは、行く度に状況が変わっているという事で、目に見える発展が続いています。それに現代と自然、古いものと新しいものとの調和もうまくいつている感じですが。ゴルフ場開発もどんとんと許可が下されているように、プレー費が日に日に安くなっております、我々にとっては喜ばしいことではないかと思っております。

先の選挙で議員の顔ぶれもだいぶ変わりましたが、我々に対する期待が非常に重みがあるのではないかとこのことを実感します。

私は、済州国際馬拉ソンに参加するため、あるいは済民

国になり、幼稚園に通う孫が「アンニョンハシムニカ」と挨拶し、その孫に「また連れて行ってほしい」とせがまれると、嬉しい限りです。小さい子は、言葉を覚えるのも早いようです。墓の草刈りにも連れて行きますから、そうしたことを通じて、子供達もなんの抵抗もなしにだんだんと「行かなあかん」という気持ちになつてくれているようです。

目に見えて日に日に発展 航空券取れないのが悩み

日報の創立記念に参加するために準備しましたが、航空券が取れないような状態で、一日早めに出発し、帰りはソウル経由で帰って来ました。済州道が観光地としてどんどん発展している割には、それに伴う足の便がスムーズな状態ではありません。そうした不便を解消するために、関済協として関係筋に要望していくことも検討していけばいいのではないのでしょうか。

済州道は長らく不遇の時代を経験してきましたが、今ほどの道よりも豊かな道になっています。済州道はすばらしい自然に恵まれてどんどん発展しています。関済協は今年で七年目になりますが、これだけの立派な会館「関済協ビル」を所有しているのは誇らしいことです。関済協はその名の通り、関西一円の集いやすから、関西一円に、関済協の存在をもっともってアピールしていくことが大切だと思います。そしてさらに充実した会として運営していければ申し分ありません。そうなれば、青年会や婦人会の活動もさらに活発になると思います。

一世の郷土愛には及ばないが

二世三世も郷土に自覚を持つ

朴國男組織副会長 道民会
は一世の方々が情熱をもって作ってこられたものだと言えます。それを、二世三世である私達が継承しているわけですが、そこには環境の違いと違うのでしようか、一世は故国で生まれて、何歳かまで育てておりますから、故郷を思う気持ちというものは、二世、三世のそれとは当然に差が出てきます。その差を、我々二世三世も的確に認識して、一世と同じようなことは出来ませんが、それを継承する、そういう活動が大事ではなからうかと考えております。

私達二世三世は、故郷・済州道を誇りに思うとまではいなくとも、済州道が故郷であるということを認識しながら、互いに親睦の輪をひろげ、活動するということ、そうし

た活動の中で、自然に情報の交換もでき、日本人社会とのいろいろな形の親善事業にも役立つことができると思っています。

一世の方々はもちろん、私達二世三世も、故郷である済州道にいろいろと貢献してきましたが、その中心は物質的、金銭的な貢献で、大半が公共の場に提供されたものです。これが従来への貢献のあり方だとすれば、高昌照会長がはじ

めて試みる若い人達のスポーツを通じての交流、この事業は、これからの新しい貢献のあり方を示すものとして注目されております。

また夏季学校も、中・高・大学生の在日の子弟が夏休みに済州道へ行って勉強するといふ形で、故郷にお世話になり、故郷を知る機会になっておりますが、そういう事業も毎年継続されており、そうした人的な交流事業は、素晴らしいことだと思えます。そういう意味からも、今後、さらに人的交流の各種事業を拡大していけば、若い人達にいろいろな形で故郷が認識されるようになり、そして、故郷を認識した若い人達によって関済協も永遠に継承されていくと信じております。

朴國男組織副会長



朴茂範企画副会長 関済協

が一つになって出帆して以来、執行部の一員としてやってきましたが、執行部の方々も素晴らしい方々で、やはり郷土愛というのでしょうか、自分の先祖が済州道出身だという一体感が感じられます。大阪には済州道の人が多く、私達のアボジ・オモニの世代は、故郷・済州道は生活が出来ないほどに貧しい島でした。そのアボジ・オモニが済州道から日本に来たということに強いつながりを感じ、情愛を感じます。

朴家の本家筋ということで、済州道に先祖の墓があり、私は長男でしたから、その先祖の墓を守って行く役目もありました。年に一回、八月の日曜日に密陽朴氏の一族が全部集まって墓参します。その日は朝五時ぐらゐから集まりだし、あちこちの墓の草刈りをして、最後に一つの墓のところに集まって拝礼します。そして、例によって例のごとく酒盛りがはじまり、時には酒の勢いでいろいろな意見も飛び出します。ですが、やはり、自分も韓国人であり、済州道に先祖の墓を持つ子孫だということを自



朴茂 企画副会長

覚する場にもなります。

私にとってはやはり濟州道というのとは特別な意味を持つ島ですし、関済協という会にも特別な愛着を感じます。私も子供を濟州道の墓に連れて行きましたが、子供らは墓参りというよりも観光気分になるようです。私は小さい時に親と一緒に生活するなかで、親が苦勞している姿を見ているから、気を引き締めることに常に心がけていますが、私らの子供は、親が会社を作って、ゴルフをしたり、贅沢をしているという姿しか目にしていないようで、祖父・祖母の苦難の歴史を見ていません。思うに、そのような苦難の時代の歴史的なものをどのように伝えて行くのか、そのような視点で考えて見ることも大

父母の苦難を知る世代は 濟州道に格別な愛着

ただ、諸般の事情で、現在、会員にならない人であっても、その人の孫や曾孫の世代で会員になる人もいられるかもしれません。子孫の世代で郷土愛に燃え頑張る人が出てくるかもしれない。その意味からいかなる環境にあるうとも、濟州道出身者を温かい目で見ていることが大切なことだと信じておりますし、今後は会員の底を広くして、たとえ時間と金銭と労力がかかっても根気強く説得し、会員になっていただくように努力して行きたいと考えております。



洪正雄 財政副会長

二一世紀に求められることは、やはり自覚です。子供に韓国であることの自覚、故郷が濟州道であることの自覚、そして、関済協という素晴らしい組織があるんだということの自覚を持つてもらうことが大切です。そのためにも関済協の存在をもっとアピールしてやっていけばいいと考えております。濟州道の出身者であれば、会員でなくても、いつでも、どんなことでも相談に来てくださいと呼びかけ、門戸を広く開放していくことが肝要だと思います。

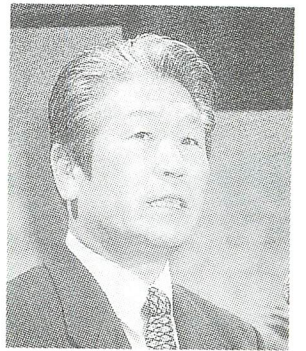
持ったということとは非常に大きな意味を持っています。この関済協ビルが李純安総務副会長の尽力で満室になったということは、基本財政確立にもさらに大きな弾みになりました。どんな事業をするにしても、財政があつてこそできることです。その財政確立がテナント収入で実行できるということは関済協組織の大きな魅力だと思います。

過去は過去であつて、これからは未来に向つてどう取り組んで行くか、ということに重点をおいて各種の事業を推進していけば、関済協の発展も約束されるのではないかと考えております。その意味からも、関済協ビルが満室になつたということは大きな財産だと思しますので、これに多に活用しながら、過去にない、関済協のすばらしい、未来に向けての事業を一つでも二つでも積極的に推進していけばいいと思います。

切ではないでしょうか。現状をみますと、関済協に加入する会員というのは先細りの感をうけます。ですから、底を広くして一人でも多くの会員を増やすように努力して行くべきだと思いますが、言うことは簡単でも、実践はなかなか困難を伴うと思います。

高昌照会長が推進されている韓日少年サッカーチームの親善交流は、昔と違う郷土との紐帯のあり方を示唆するものとして注目すべき事業です。この青少年交流事業は、意義ある事業であり、今後、多に推進していくべき事業だと思います。そうすることによって、新しい世代の若い人たちに魅力を与える関済協になるのではないかと期待しております。

洪佳佑 事業副会長 私も二十数年前から、濟州道を往来するようになりましたが、その頃はほとんどが藁葺きの家で、どの家でも必ず豚が一つ置いて、豚小屋が目につきました。その頃は父母も健在でし



直前会長

梁 斗 京

二年は長いようで短い期間でしたが、その間、ご指導ご支援くださいました皆様に感謝するとともに、「チュゲルテカジ チング(死ぬまで友達)」の気持ちで、一期一会の思い出を大切にしていきたいと考えております。

親睦団体という組織は、お金を使い、時間を使い、神経を使い、何か郷土のために尽くしたいというボランティア精神の発露の場であり、物質的なメリットは何もないと思います。しかし、郷土を同じくする者同士が会い、談笑することによって、精神的なメリットを多大に受けていると感じております。そういう意味からも私自身、多くのことを勉強させていただきました。



総務副会長

李 純 安

関済協は父親であり、婦人会は母親であり、青年会は子供達であると思います。この三者が活動することによって、関済協という家族が成り立つと考えております。今から七年前には大阪に四つの会があつて、関係者のなみなみならぬ努力で、南北の統一よりもむずかしいという四団体の統合が結実し、一つになったのが現在の関済協です。

子々孫々まで明るく楽しく、拠り所のある会館づくりをしたいという康忠男初代会長の透徹した考えのもと、出来上がったのが七階建ての立派な会館です。そして、二代、三代、現在の四代と会長は代りましたが、この会館を基盤にさらに発展を目指しております。



渉外副会長

韓 健 三

親睦会は故郷との連帯を強くする会だと思えますが、関済協も郷土・済州道との関係が強くなつていくと思えます。それだけに関済協に対する郷土の期待も大きく、時には予定に入っていない行事の支援要請もあります。事情の許す限り、そうしたお手伝いもしていければいいと思えますが、若い人たちが自分たちの郷土を訪問し、知るといふ事業も大切なことだと考えております。故郷・済州道は、石と風と女

が多い「三多の島」と呼ばれ、昔は貧しく、その貧しさから抜け出すことが島民の願いでした。今は飛躍的に発展し、豊かな島に変貌しましたが、故郷の歴史を知る郷土訪問事業も大切だと思えます。



体育副会長

高 英 寛

康忠男初代会長は関済協ビルを立ち上げ、呉辰成二代目会長は婦人会を結成、梁斗京三代目会長は結婚相談センターを設置しました。そして歴代役員の方々の尽力によって済州道との太いパイプができあがったその実績を活かして、高昌照四代会長はスポーツをはじめとする民間レベルの交流を活発に行うということ

をモットーにしています。私は体育副会長として、四月に生野フットボール連盟のサッカーチームを済州道に派遣するお手伝いをし、そして八月には済州道の小学校サッカーチーム三名を大阪に招請する事業に取り組んでおります。皆様のご指導ご支援をよろしく願います。

したが、三年前に大阪の得意先関係一六人ほどを済州道に招待しました。ほとんどの人が初めて済州道を訪問するということで、「遠い・・・」とすごく心配する人もおりましたが、「淡路島へ行くようなものですよ」と説明しながら、済州道ではゴルフなどを楽しんで貰いました。「素晴らしいフェアウェイだった」と一同感激し、「もう一度、連れて行ってくれ」と言われる始末でした。

済州道も昔と違って、ずいぶんと発展し、変わってきました。道路の舗装率は、日本のどの都市にも負けないくらいだと思えますし、街並みや田舎の家もカラフルで、立派な家が多くなりました。昔の藁葺きの家や豚小屋などは一切見かけなくなりました。二〇〇二年のワールドカップサッカーを契機にもっともつと発展していく勢いです。私達は、故郷である済州道を大いに誇りにし、関西と済州道の橋渡しをする民間交流事業、日韓親善交流事業をさらに積極的に推進していきたいと思えます。

部長一〇
メツセーミ

総務部長 朴信平
(新井)



財政部長 康文男
(谷山 貴信)



組織部長 任京宝
(豊川 剛司)



事業部長 呉基博
(水戸 基博)



初めての故郷訪問で
父の郷土愛を再確認

ジェット機はグングンと海面に近づき、左手にのびやかな山が見える。あれが漢拏山か……。眼下に黄色の絨毯、菜の花畑だ。もう二五年になる。私が初めて濟州島の地を踏んだのは、父の故郷板浦里の国民初等学校の要望で、父が卓球台と道具を寄贈、私が名代として伝達するためだった。

「学校の運動場というものを踏んだことがない」が父の口癖で、ことのほか国民学校には思いを入れていた。そんな父を、私は内心、誇りに思っていた。伝達式の後、校長、教頭以下十数名の先生方と海岸の岩場に下り、韓一焼酎にヤクルト割り、サザエとトコブシが酒の肴で、青天下の談笑になった。私は岩場に波打つ海の水を両手ですくって飲んだ。これが父の言っていた海の水だ！言葉に言い表せない、なんとも心地よい舌触りだった。

関西西済州道民協会が設立され、早や七年目に入りました。経済情勢の厳しい中で、スタートであり、現在までもその様な状況に変わりは無いものの親睦団体としては、現在までは、他に比べて比較的余裕ある財政運営にあるかと思えます。これもひとえに諸先輩並びに会員の皆様方の本協会に対するご理解の賜物であると、敬意の意を持っただいです。この様な中、今期財政部長を仰せつかる事となりました。基本的には過去を踏襲し無難に任期を終えたいと考えておりますが、何か小さな事でも協会にとつて為になる事を新たにやる必要はあるかと思えます。

親睦団体の場合は基本原則が性善説であろうかと思えますが、立场上、公金を扱う以上はそのチェックは定期的に行う必要があると考えておりますので、その様に実行したいと考えております。併行してその様な過程の中、方法論において、何か改善すべき点に気づくかと思っております。それはそれで実行していきたいと思っております。一方執行役員一人として定期的に執行役員会に出席することとなりますので、その折、発言も積極的に行なっており、その責務を果たしたいと考えております。最後に今後も諸先輩並びに会員の皆様方の暖かい御指導、御鞭撻、御理解を通して、安定した財政状況が続けたいと思っておりますので宜しくご指導下さい。

多くのの方に
お会いでき感激

関西済協の執行部に入り、いろいろ悩みました。思えば、私を関西済協に入会するようにしてくれた今は亡き箕山先輩との出会いが、私に多くのものを学ばせてくれました。感謝しております。

その恩返しの意味も含めて、執行部二年間の任期を一生懸命つとめたいと考えておりますが、まずは、参加することによって、高昌照会長をはじめ、執行部の方々とお会いでき、また、執行部郷土訪問では、再臨敏知事や多くの方々ともお会いすることができ、感激しております。

これからも執行部の皆様のご指導を受けつつ、私にできることを積極的に実践していきます、多くのものを学び取りたいと念じております。

望郷の念を抱き
任務を全うしたい

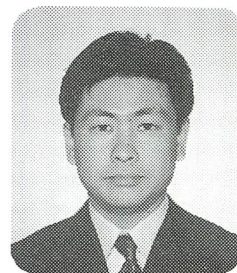
高昌照会長を中心とした新執行部が編成され、私もその一員として参与することになり、光栄に存じます。と同時に諸先輩方の築き上げた大きな功績を継承するにあたり、思いを巡らす時、大変不安な気持ちですが、ただひたすらに望郷の念を抱き、そして噛み締めつつ、関西済州道民協会の発展に一生懸命、任務をまっとうする所存であります。

ところで、事業部としての当面の課題は、青年会と共同で企画しております野遊会をいかに成功させるかであり、皆様のお力添えを得て、楽しい野遊会にしたいと考えておりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

企画部長 康武良
(康田 武良)



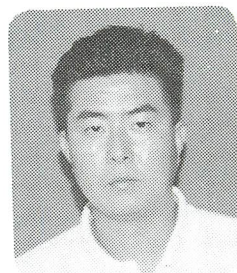
渉外部長 金伸吉
(金沢 伸吉)



厚生部長 洪碩均
(徳山 裕一)



文化部長 金一波



体育部長 金恒勝



関済協発展に

尽すことが

自分自身の

成長を促す

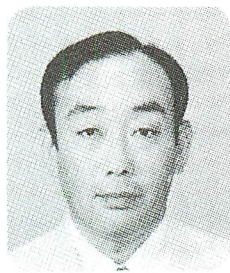
ものと信じ

関西西済州道民協会・企画部長を努めさせていただきま
す。康武良です。

昨年までは青年会を通しま
して本協会活動に参加してお
りましたが、今年は、関西西済
州道民協会企画部長康武良とし
て新たな心意気で活動して
参りたいと思っております。

本協会の発展に貢献するこ
とが、我々が在日同胞発展につ
ながり、しいては自身の成長
を促すものと感じ尽力する所
存でございます。諸先輩方
のご指導、ご助言よろしくお願
い申し上げます。

渉外副部長 梁在浩
(康永 一郎)



すでに担当事業である執行
部郷土表敬訪問を三月一七日
〜三月一九日の日程で行いま
した。済州道では歓迎をうけ、
済州道庁、道議会、教育庁など
を訪問してまいりました。九
月には漢拏文化祭が、済州道
で開催される予定ですので、
たくさんの方の会員の皆様の参加
をお願い致します。

今年歴史の出来事であ
ります。南北頂上会談が六月
一三日〜一五日に行われまし
た。会談は大成をおさめ、韓
民族の歴史に刻まれる新たな
里程碑となりました。私自身
も韓民族の一人として、一日
も早く南北統一がされること
を願っております。

ここにありという
存在になるように

色々な思いがあった時期を
乗り越えて四団体統合という
大きな目標も、達成され、はや
七年目にはいりました。私自
身が、統合前の済州青年会出
身であり、関済協青年会三代
目会長として、微力ながら皆
様の協力により努めさせて頂
きました。創立当時から見ま
すと、会としての歴史が積み
重なって来ていると確信して
おります。

崇高な理念を旗印にしながら
も、いつのまにか消滅して
いく団体の中で、関済協が基
礎を固め、在日同胞社会の中
でも、我、ここにありという、
存在になるように、親睦、友
情、友愛のもとで一致団結し、
今後の関済協を継承していく、
後輩の育成、そして郷土の発
展に貢献していきたいと思
います。

スポーツ一筋の

私ですが

文化事業にも

頑張ります

この度、文化部長をつとめ
させていただくことになりまし
た金一波です。現在、体育施設
(スポーツクラブ、温水プール
等)を管理、運営する会社を経
営しながら、大韓体育会中央
本部理事、神戸大学水泳部監
督等、スポーツの世界で動き
回っております。

学生時代から体育関係一筋
でしたから、文化的なこと
道民協会のお力になれるかど
うか不安ですが、スポーツも
文化の一つですので、精一杯
頑張っていく所存です。よろ
しくご指導、ご協力お願い
いたします。

少年サッカー

交流試合の成功に

向けて頑張ります

二〇〇〇年という節目の年
に思いがけず関済協の体育部長に就任することになりました。

高昌照会長から、新執行部の活動指針として、「民間交流の拡大」が提案され、さっそく、二〇〇二年ワールドカップサッカー韓国日合同開催を盛り上げる意味から、少年サッカー交流を進めることになりました。四月の済州道での交流試合は成功し、喜んでおりますが、次は八月の大阪での交流事業の成功をめざして、高英寛体育副会長を補佐し、ともに頑張ります。



前号では日韓併合前夜の過酷な歴史を紹介したが、その時代、濟州島を取り巻く状況はどのようなものであったのか。日本の明治維新は、一八六七年の大政奉還、王政復古の大号令、翌年の鳥羽伏見の戦い、五カ条の誓文と推移していったが、濟州島に襲来した黒船はどのようなものだったのか。それに伴い、濟州島に文明開花の波は押し寄せたのか。日韓併合前までの濟州島と欧米諸国との接触を観察してみよう。

オランダ・イギリス・フランスが相次ぎ来島

フランス宣教師が扇動し // 血の島に //

儒教を国教とした李朝時代の構造や操船様式を知るようは、この地球上に存在する文明は、中国・インドを中心に展開されていると信じ、欧米諸国の文明に対する知識は皆無にひとしかった。そのような時代、濟州島に漂着した最初の船は日本に向う途上のオランダ船であった。一六二七年（仁祖五年）のことで、暴風におそわれ、飲料水を求めて上陸したところ、島民にとらわれて漢城（ソウル）に護送された。二六年後の一六五三年（孝宗四年）にもオランダ船が長崎に行く途中、台風に遭い、大静の海岸に難破した。この時のハメル一行は帰国後、一四年間の朝鮮・濟州島での抑留生活記録をまとめて『濟州島漂流記』を著し、朝鮮・濟州島の実情について世界に詳しく紹介した。一方、オランダ船の漂着によって、島民は、西洋船舶

の構造や操船様式を知るようになり、船内の舶来品をじかにみることによって、新しい知識を得たと思われる。それから二〇〇年後の一八四五年（憲宗十一年）、世界の植民地王国であったイギリスの艦船が「天地の観測」と称して濟州島南方の海域に現れた。「ビクトリア女王の命により、この島の周囲の危険な場所を測量することは難破船を防ぐために必要である。太陽や星を観測して、島の高いところのぼつて、種々の方法をめぐらすのもそのためである」と恫喝し、傍若無人に振舞い、時には鉄砲も撃つてみせた。島民は恐れおののくどころか、怒りをあらわにして、燃木をふりかざし、イギリス人の測量を妨害し、抵抗した。その時のイギリス艦船は「異様船が濟州海中を往来して、いたるところの島嶼に上陸すると、ただちに白旗をたてる。ついで水深をはかるナワでもって海の深淺をはかり、石をきずき灰をぬって、その方位を標し、これを木の株に結ぶ。鏡板をその上におき、それをとりまいて拝み祭をおこなう」という有様であった。

一八五一年にはフランス軍艦が大静幕瑟浦に襲来した。問責のため艦上にあがった官吏に、艦長は「食糧を補給してくれ」と銃を構えて脅したため、白米二斗、鶏一一〇羽、薪一〇束を調達し、与えた。その後、フランスは朝鮮と修好条約（一八八六年）を結んだが、その条約を無視して、多数の宣教師を本土のみならず濟州島にも送りこんで、布教活動を積極化した。

時に、政治的に墮落し、道徳的に腐敗しきっていた社会相

韓日近代史 略年表

- 1863 朝鮮王朝 26 代の高宗即位
 1865 高宗の父大院君の執政始まる
 1866 フランス人宣教師ら処刑される。大同江に侵入した米船シャーマン号焼き打ちされる。フランス軍艦 7 隻が江華島に侵入 (丙寅洋擾)
 1868 明治維新
 1869 日本の王政復古通告使節を拒否
 1871 米軍艦 5 隻が江華島に侵入 (辛未洋擾)
 1873 国王親政を宣布、王妃一族の閔氏が執権し大院君との対立深まる。日本で征韓論おこる
 1875 日本軍艦雲揚号が江華島で交戦 (江華島事件)
 1876 日朝修好条規締結し開港 (江華島条約)
 1882 米、英、独と修好条約締結。軍内で暴動発生、清国が介入 (壬午軍乱)。清国が大院君を清国内に抑留
 1884 金玉均ら閔氏一族排除のクーデターに失敗し日本に亡命 (甲申政変)。次第にロシアの影響力強化
 1885 アフガニスタン問題で英露の対立深まる。英軍艦が巨文島を占領しロシアを牽制
 1894 東学党中心の農民がほう起 (甲午農民戦争)。ほう起の鎮圧を巡り日本と清国が対立、日清戦争に発展。金弘集内閣、甲午改革を推進
 1895 日本人グループが王宮を襲撃し、閔妃を殺害
 1896 国王、ロシア大使館に移る
 1897 朝鮮王国から大韓帝国と改称、国王も皇帝に改称
 1904 朝鮮半島の利害を巡り日露が対立、日露戦争開戦
 1905 日露終戦。日韓保護条約で、韓国は日本の保護国に
 1907 日本の圧力で高宗退位、純宗即位
 1909 安重根、ハルビン駅頭で初代韓国統監伊藤博文射殺
 1910 日韓併合条約調印。日本は朝鮮総督府を設置
 1945 第二次世界大戦で日本敗戦、朝鮮解放

で、済州島もその例外ではなかった。島の長官である牧使をはじめ下級官吏にいたるまで、農民からいかに収奪するかを職務としていた。また官職は金で売買され、公金横領、詐欺、賄賂等は日常茶飯事だった。そうした土壌は、塗炭の苦しみにある農民に天主教など外来の宗教を受け入れる素地を造成した。

朝鮮の領土で戦闘を繰り返した日清戦争 (一八九四〜九五) は日本が勝利し、日本は朝鮮の政治的、経済的、軍事的な侵犯を強化し、朝鮮政府に親日的な内政改革を強要した。

その具体例が「洪範一四条」の発布であった。その洪範一条「地方官制は早く改定し、地方官吏の職権を限定すること」に従って、一八九五年に済州を府に改め、牧使を廃止し、親察使 (知事) をおいて済州・大静・旌義三郡を統率するようになった。判官制度を改めて参事官をおき、郡守を兼務せしめた。裁判所には判書をおき、その下に主事一三人をおいた。また警務庁も新設され、済州・大静・旌義に郡守をおき、親察使の指揮をうけるようになった。こうした新制度に対する反感に加えて、閔妃暗殺の乙未

その下に主事一三人をおいた。また警務庁も新設され、済州・大静・旌義に郡守をおき、親察使の指揮をうけるようになった。こうした新制度に対する反感に加えて、閔妃暗殺の乙未

警務庁参事官を廃止した。東学党信者の一人が塗炭の苦しみにある農民に「悪弊を一掃しよう」と呼びかけ、蜂起を促した。これに応じた島民は数千人になり、州城に突入し、親徳亭の前に陣どって、牧使に要求をつきつけたが、拒否された。暴徒と化した集団は軍器庫を壊して武器を持ち出し、牧使らを引っ張り出して、大衆の面前で処断し、官舎に火を放ち、文書類を取り出してことごとく焼きはらった。さらに獄門を壊して囚人を解放し、倉庫を破壊して米や布を分配したが、七日後に鎮圧された。

フランス宣教師がもたらした天主教の教義は儒教の教義とは相容れず、フランス宣教師は何度も極刑に処されたが、次々に宣教師が送りこまれ、布教に執心した。こうして一八九〇一年 (光武五年) には洗礼をうけた者二四二人、入教者四〇〇〇人に達し、天主教ブームを現出した。一九〇一年当時の済州島の人口は約一四万人で、一牧三郡の行政区域に分けられていた。

罪人であっても、天主教に入教し、聖堂の中に隠避すれば、官憲もその者を捕えるこ

教徒たち、よくきけ！ お前達は朝鮮人でありながら フランス人の威力を借り 良家の婦女たちを侮辱し

とはできなかつた。聖堂は治外法権の区域で、牧使ですら取るべき方法がなかつた。いわば、宣教師の一存で罪人を釈放することもできたわけで、

生殺与奪の権利を握っているに等しかった。教勢が日ましに伸長していくにつれ、フランス神父らは教会の権威を悪用し、島民に反逆をそそのかすようになり、一方で、教徒の暴虐行為も頻発し、島民の安全を著しく脅かすようになった。

このような官吏の悪逆、宣教師と教徒らの暴虐に対して

旌義郡と大静郡で大規模な島民の蜂起が発生した。蜂起の理由は「男子がこの世に生をうけたからには、上には国権を輔けて社稷を安泰にし、外には民衆のために、暴虐無道なやからを追放・誅殺し、斬草除根するのが大丈夫のやることであり、国民たるの義務である。かたく団結し、戦いに臨んでは断じて後退してはならない」というもので、「いま餓死線上にあえぐ島民たちよ！われらの心よりどころなる濟州島は、日ましに窮乏化している。全島民は総力を結束し、すみやかにたちあがれ！あの暴虐きわまる暴徒たちを、徹底的に鷹懲するために！」という檄文が各地に飛ばされた。

「教徒たち、よくきけ！おまえたちは朝鮮人でありながら、フランス人の威力を借り、良家の婦女たちを侮辱し、無垢の人民を殺傷し、民家の祝福祈禱所を勝手に破壊した。徒党をくみ、純情、素朴な良民を聖堂・公所・支会所にひっぱりこみ、さまざま私刑を加えた。それでも足りず、自分の気に入くわれない者を打ち殺し、

財産をうばいとつた。その蛮行が日を追って激増していくので、島民は生業を失い、道路や山谷にさまよい、生計の道が断たれた。お前たちは教徒でなく、暴徒である。お前たちのような不良徒輩は、いつときでも生かしておく所在はない」と宣言し、一〇日間一〇〇〇余名の教徒が処断された。血が川をなし、屍は山のように積まれ、死の町と化す有様だった。

蜂起民が所期の目的をはたした頃、フランス軍艦二隻が、

山地浦に入港し、武装したフランス兵が上陸、四大城門にフランス国旗を高々とひるがえし、各官舎を占領した。教徒の家には旗をたたせ、それ以外の民家には火を放ち、蜂起民に牽制した。そして難を逃れたフランス宣教師と教徒四〇人をのせて木浦に向った。

ちなみに、この事件が完全に解決するまでには四年の歳月がかかった。

このように、極貧にあえぐ島民は、オランダ、イギリス、フランスの文物に接しても、それを租借する余力はなく、圧政に抵抗する毎日であったといえよう。そうこうするうちに日本の植民地と墮して行くのである。

「征韓論」は悪意の国策

朝鮮通信使等韓日両国の善隣友好関係を全て隠蔽

21世紀は歪められた歴史を修復し
再び善隣友好関係を定立すべき

征韓論の発端は一八六八年、

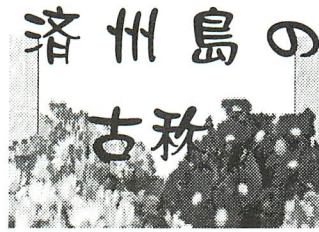
「王政復古」「御一新」を通告する日本の大修大差使の書契が「旧格違反」として朝鮮に拒否され、日朝間の交渉が暗礁にのりあげたときである。日本が、従来の朝鮮通信使による善隣友好関係を一方的に破棄したことを、朝鮮国は容認しなかつた。それ以降日本では、「朝鮮国は元来偏固の風は、「朝鮮国は元来偏固の風習、善悪旧規を拘守する国柄であるから、鷹懲（ようちゆう）の勇断にでられたい」という論法が急速にひろまった。明治政府はその機運を最大限に利用して一八七四年に江華島事件をひきおこし朝鮮侵略

の突破口としたのである。

朝鮮人の偏固さが、日本に都合よく利用された一例だが、しかし、誰もがてこずるその誇り高き偏固さがなければ、巨大な中国、あるいはロシアを背後にもつ朝鮮国の独立は維持できなかつたのではないかと思われる。

征韓論からはじまった明治時代は、朝鮮通信使による二六〇年の善隣友好関係にピリオドをうち、江戸時代を「暗い鎖国の時代」として描くことを国策とした。その一貫として、豊臣秀吉を英雄に仕立てあげ、徳川家康は、秀吉が苦勞して天下統一をなしたとげた成果を掠め取った腹芸のたけた人物とし、明治以後を「明るい近代」として浮き彫りすることに腐心したのである。こうして、豊臣秀吉の朝鮮侵略は、明治政府の朝鮮侵略と符合するものとなり、明治末から大正にかけて、秀吉の虚像は立川文庫や映画を通じてさらに拡大され、朝鮮侵略を正当化した。

をつくる能力のない国、そのために停滞、落伍し、文化といえは中国文化の模倣しかできないつまらない国、といった像をつくりあげることには狂奔し、「明るい日本」と「落伍し暗くて殺伐な朝鮮」を対比させて、学校教育や新聞、映画を



濟州島の古称 辰韓人が漢拏山を 頭無山と称する 日本書紀には「忱弥多礼」

通して国民に教えこんだのである。したがって、室町時代の百六十余年にわたる善隣関係や、江戸時代の平和な両国の文化の交流についてふれることなどは、国策にそぐわないとして密閉してしまい、教えることを一切しなかった。時には、善隣友好の証だった朝鮮通信使を「朝貢使」と説明して悪用するなど、朝鮮史像や日朝関係史像を歪めて、蔑視意識を増幅していったのである。多くの日本人が抱いているこのようなまちがった朝鮮観は、伝統的な根深いものでなく、近代日本の国策のもとにつくり出され、拡大されたものである。二二世紀は、韓日両国がそれら誤った差別感を払拭し、対等な立場で善隣友好関係を定立しなければならぬ。

濟州島の古称は「耽羅」として知られているが、その「耽羅」の地名由来に関する従来

の代表的な学説としては大洋説、鯖魚国説、円山説などが主張されてきた。これらは「耽」の語源と思われる「冬音」または「頭無」が何を意味するかに依って、「耽羅」の由来を説明したもので、大洋説は「頭無」が「大洋」を意味するとし、鯖魚国説は「冬音」が「鯖魚」を、円山説は「頭無」が漢拏山の形

象である「円」から由来したというものである。しかし、これらの学説は「頭無山」の名が変って「耽羅（冬音）」になったと前提しているところに根本的な矛盾があるとして、新しい学説が出てきている。「耽羅」は沸流百済の檀魯系地名であり、「頭無」は辰韓人の涿水系地名であるから、「頭無」が「耽羅」に変わったものではなく、古来、濟州島に二系統の地名が存在、つまり

り二つの集団が濟州島に渡来して、別々の地名を使用したというのである。紀元初に辰韓人の一派が北濟州郡翰京頭毛里一帯に定着し、漢拏山を「頭無山」と称した。これは高・夫・梁三姓の耽羅始祖がみな頭毛里で誕生したという頭毛里始祖説と脈絡が通ずる。次に二二七年、木羅斤資を総司令官とする沸流百済の遠征軍が濟州島を檀魯（郡県）化して「耽羅」の名がはじまり、沸流百済の領土として吸収された。ちなみに沸流百済とは、温祚（三国史記に記されている百済の始祖）の兄である沸流が建国した国で、高句麗・広開土王の侵攻によって三九六年に滅ぼされ、王族は倭国（日本列島）に逃れ、天皇家を構成したとされる。檀魯制は沸流百済の統治体制であり、地方組織である。本来、沸流百済と温祚百済とは兄弟国ではあるが、別々の王系であるにもかかわらず、従来の学説は沸流百済の存在を不問にし、すべてを温祚百済と混同してきた。他方、『日本書紀』には濟州島が「忱弥多礼」と記されている。「忱弥」はトミで「頭無」に対応し、「多礼」は「達（山）」の意であるから、忱弥多礼は頭無山（漢拏山）を指した耽羅の別称なのである。この忱弥多礼（耽羅）が温祚百済に帰属したのは四七六年であるため、それ以前の忱弥多礼は温祚百済のものではなく、沸流百済の支配下にあったのである。

在外道民施策案内

◎在外道民子女民族教育実施

◇夏季郷土学校

- 時期：毎年8月（5泊6日間）に施行
- 場所：済州道地方公務員教育院・済州大学校（主催）
- 対象：在外道民子女（2～4世）
- 人員：80名内外
- 教育内容：民俗文化体験、ハングル教育、道内視察、青少年交流等

◎在日同胞福祉施策

◇故郷訪問事業

- 時期：毎年秋夕前3泊4日間
- 対象：故郷訪問経験がない65歳以上在日の済州道民
- 主要内容：道内視察、省墓、親知訪問等
- 推進実績：97年49名、98年45名
- 99推進計画：99年9月中に3泊4日間、30名内外

◎遺骨奉還事業

- 奉還対象：太平洋戦争犠牲者および一般在在同胞遺骨
- 推進状況
名簿確保：徴用者790名、死亡者656名
済州道出身遺骨所在確認：6具
（東京都祐天寺に奉安中）
奉還安葬：5具（戦争犠牲者3、一般遺骨2）
慰霊祭奉行（98年3）
- 今後計画
祐天寺奉安中の3具の縁故者を探した後奉還推進
所在不明の遺骨に対しては縁故者および所在地把握を継続推進

◎『在外道民 相談室』運営

◇設置背景

- 済州道が困難な時節、故郷発展のために物心両面で助力してくれた在外道民たちの恩恵に報答するため、在外道民たちの隘路事項を解決して故郷訪問時の各種便宜を提供するためのものである。

◇依頼方法および所要経費

- 利用媒体：電話、ファックス、郵便または直接来訪相談
- 所要経費：戸簿謄初本発給代行は済州道が負担、その他の民願は実経費に限り依頼者が負担

◇連絡先

- 住所：済州道済州市蓮洞312-1
済州道在外道民相談室
- Tel. (064) 740-1412, 747-4932.
Fax. (064) 740-1651
- E-Mail住所：iforchju@provin.cheju.kr

◎海外同胞故郷探し事業推進

◇趣旨

- 海外居住同胞が忘れつつある母国愛と愛郷心を高め
- 済州人の自尊心と共同体意識提高で海外同胞たちの故郷発展参与

◇99推進計画

- 少年体典、道民体典：99年5月
（国内外済州道民）
- 漢拏文化祭、柑橘祝祭：99年10月
（国内外済州道民）
- 民族との出会いの遊び場運営：99年7月
（在日済州道民）
- 夏季郷土学校：99年8月
（在日済州道民）
- 在日同胞故郷訪問事業：99年9月
（在日済州道民）

◎具体的業務内容

1. 愛郷墓地内 安葬事業一切斡旋
2. 一般地域内 安葬事業一切（有碑）
3. 一般地域内 安葬事業一切（無碑）
4. 移墓一切 墓地1基当
5. 墓石築
6. 碑石（中南鳴石）小型一切
7. 碑石（中南鳴石）中型一切
8. 碑石（中南鳴石）大型一切
9. 祖上墓伐草代行 墓所 大・中・小型
距離不問
10. 戸籍関係全般
11. 合同慰霊祭（年1回）
12. 物件登録及び民事・刑事関係・司法書
士・弁護士等 斡旋
13. 僑民投資 誘致

在日済州道民のために、民願処理業務等を担当する「在外同胞 相談室」が済州道庁内に設置され運営されております。各種民願処理業務等は前記の通りですが、本協会事務所でもそれらの処理業務を代行しておりますので、お気軽にご相談、あるいはお問い合わせください。具体的業務は、済州道愛郷墓地安葬、戸籍整理訂正、等で、その他、土地・家屋登記所有の相談や招請の相談がかなりの件数にのぼっております。

【お問い合わせ】

関西済州道民協会

大阪市東成区玉津1-4-22

TEL 06-6973-3700

FAX 06-6973-6080

《済州道庁 在外道民 相談室》

TEL 064-740-1412

FAX 064-740-1651

◎養老事業

○対象：65歳以上零細在外済州道民



本協会専務理事
李永哲

関済協事務所にも 映像電話設置

大阪～済州ホットライン
インターネットテレビ電話を
活用して故郷の親族の顔
を見ながら話してください

関済協事務所にインターネットテレビ電話が設置され、利用を呼びかけている。このインターネットテレビ電話の利用により、故郷に住む家族や友人の顔を見ながら通話でき、こちらの映像も相手に見せることができる。

インターネットテレビ電話は済州道庁より提供されたもので、五月十日に設置された。電話回線はISDN回線利用しており、映像が瞬時に出る。済州道庁では肉親の通話はもちろんのこと、併せて済州道の国際自由都市建設の過程をより多くの道民に知って欲しいと願っている。



編集後記

助になると確信してやみませ
 ん。そうした新執行部のビ
 ジョンを会長団座談会「二一
 世紀の関済協」と題してま
 めました。新進気鋭の各部長
 の一言も添えました。

郷土・済州島は古来、「耽羅」
 と称されてきました。その「耽
 羅」という名称はどこからき
 いたのでしょうか。その解答を
 出してくれるのが、金聖昊著
 『沸流百済と日本の国家起源』
 という本です。『日本書記』を
 目にした人は、その中に韓半
 島の記事が随所に嵌め込まれ
 ていることに驚くことではし
 ょう。そして、邪馬台国が九州に
 あったか、畿内にあったか、今
 なおケンケンガクガクのあり
 さまです。『沸流百済と日本の
 国家起源』はそれらの疑問を
 ものの見事に氷解してくれま
 す。

『関済協』七号の編集に追わ
 れているさなか、南北首脳会
 談が開かれ、連日放映された
 金大中大統領と金正日総書記
 の固い握手の様様を見て、韓
 民族であれば、誰しもが熱い
 涙に溢れたことでありまし
 ゃう。肉親の憎悪は何よりも
 ついが、肉親の情愛もまた何
 よりも強いということを生世
 界の人に知らしめ、祖国統一
 に向けて大きな成果を生み出
 したことに双手をあげて歓迎
 したいと思えます。

「しよう」という理念のもと、関
 済協の発展に取り組んでまい
 りました。

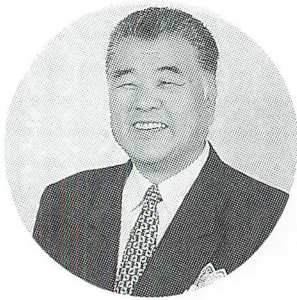
高昌照執行部は歴代執行部
 の実績を正しく継承して、「ス
 ポーツなどの民間交流を積極
 的に推進する」ことを最優先
 事業にしております。その手
 始めとなるのが、韓日少年
 サッカーチームの国際交流試
 合であり、そうした「草の根」
 の韓日親善交流が二〇〇二年
 W杯サッカーを盛り上げる一

端的に言えば、邪馬台国は
 沸流百済の檐魯(植民地)で
 あって、九州に位置していた。
 倭国(日本列島)は沸流百済の
 支配化にあり、三九六年に高
 句麗・広開土王に討ち滅ぼさ
 れたため、王は倭国に逃れて
 天皇になったというものです。
 済州島も沸流百済の檐魯で、
 その檐魯が「耽羅」になったと
 説いています。それ以前の名
 称は済州島のシンボルである
 漢拏山の名前が島の名前に代
 用されました。それが「頭無
 山」です。

その済州島に近代の夜明け
 が訪れましたが、儒教に慣れ
 親しんでいた島民に、フラン
 ス宣教師は様々な天国に誘う
 甘言を弄しました。その結果、
 島は血の海と化してしまいま
 した。夜明けの痛ましい陣痛
 というものでしょうか。

なお、本誌の発刊にあたり
 ましては、李永哲専務理事並
 びに制作を引き受けていただ
 きました韓登氏の労苦に改め
 て感謝申し上げます。

さて、七年目を迎えた関済
 協は高昌照執行部のもと、意
 も新たに二一世紀を迎えるこ
 とになりました。初代執行部
 は「歩きながら考えロマンあ
 る組織にしよう」、二代目執行
 部は「仲良く楽しい組織にし
 よう」、三代目執行部は「積極
 的に行動し頼りになる組織に



企画副会長 朴茂範



企画部長 康武良

企画副会長 朴茂範
 企画部長 康武良

関西済州道民協会 会報

関 済 協 第7号

2000年7月10日発行

発行所 関西済州道民協会
 会長 高 昌 照

企画編集 関西済州道民協会 企画部

関西済州道民協会

大阪市東成区玉津
 1-4-22

TEL 06-6973-3700 (代)
 FAX 06-6973-6080